

令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書
(資料編)

令和3年6月
長崎県公立大学法人

(資料編) 目次

No	頁	内容	中期計画No.		
1	1	しまなびプログラム	1		
2	17	実践的な教育プログラム	1		
3	18	学部、研究科の学位授与方針、教育課程編成・実施方針	2	5	
4	26	進級要件・卒業要件	3		
5	29	資格取得等に係る高い目標	3		
6	32	大学院リーフレット	4		
7	40	ループリック	5		
8	42	FD研修会実施状況	5		
9	44	「長崎県立大学やるばいプロジェクト」実施状況	6		
10	46	就職状況等	7		
11	53	県内就職状況	8		
12	54	国際交流協定校一覧、留学生の状況(受入、派遣)	9		
13	56	入学志願者及び入学者数	10		
14	58	高校生向け講座(一日大学生)	10		
15	59	自治体との連携協定締結	11		
16	62	学長裁量教育研究費	11	24	
17	65	研究論文数及び学会発表数	12		
18	66	公開講座	15	16	
19	67	佐世保校校舎等建替え	17		
20	68	教員の年齢・性別構成	22		
21	69	大学の活動や教育研究の成果に関する広報活動	28		
-	71	用語解説	/		

※ 資料については既存の資料より抜粋し、活用しています。

長崎県の多くの「しま」や地域においては、急激な人口減少や少子高齢化の進行により、地域コミュニティの低下、基幹産業の不振、伝統・文化の衰退など、日本において数年前に生じるであろう問題にいち早く直面しており、課題の解決が急務である。長崎県立大学では、「しま」を佐世保校、シーボルト校（長与町）に次ぐ第3のキャンパスとして位置づけ、「しま」での実践的な体験学習を全学的に導入する。そして、グローバルな視野をもち、かつ地域課題に主体的に取り組むことができるグローバル人材育成のため、学長のリーダーシップのもとに地域を志向した教育改革や、地域における教育拠点の中心を担うための学部学科再編に全学的に取り組む。また、大学が「しま」に学んだ成果は、地域における人材育成や産業振興等を通じて地域に還すとともに、地域と大学が連携して、地域の宝（しま）を再生・創造する。

人材育成

- 地域を担うボランティアリーダー育成
- 外国語による観光ガイド育成
- 女性人材の育成

健康増進

- 生活習慣病、寝たきりの予防
- 食育活動の取組支援
- 安全安心出産と子育て支援

産業の振興

- 地域資源を活用した機能性食品開発
- 流通・物流の効率化

伝統文化の継承

- 「長崎を学ぶ」講座の実施
- キリスト教関連遺産保全の取組支援

地域

- しまの地理
- しまの交通・物流
- しまの歴史
- しまの医療・福祉

しまを知る



大学

しまに学ぶ



地域をつなぐ



地域に還す

取組事例を県内に普及

大学では

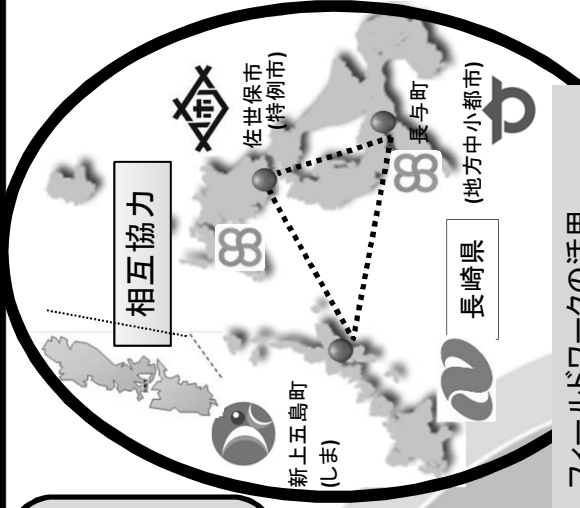
- 学長のトップマネジメントを強化し、大学の重要課題に的確かつ機動的に対応するために、重要課題毎のプロジェクトチームを編成し、大学改革を推進する。また、研究については、学長の主導のもとしまや長崎の地域課題を重点化する。
- 全学的にグローバル人材育成を主眼とした地域志向のカリキュラム改革を行い、学部学科再編に取り組む。授業方法にアクティブラーニングを取り入れ、主体的な学修を促すとともに、モバイルラーニングを導入し学習を支援する。
- フィールドワーク拠点として地域にサテライトキャンパスを設置し、出前講義、e-ラーニングにより生涯教育・地域協働の人材育成の拠点、子育てや高齢者の居場所としても活用する。

地域間の人と物の交流

- 教員・学生のフィールドワークを通じた人の交流
- 「しま」の実習を通じた人の交流
- 学生による旅行商品の開発
- モーターツアー・共同物産展等による3市町間の交流

ICTの利活用

- 遠隔講義システム活用
- モバイルラーニングシステム導入



フィールドワークの活用

- 「しま」でのフィールドワークの必修化
- 課題解決能力の育成
- 「しま」をフィールドに地域が抱える課題を体験し、解決策を検討
- 就業力・社会人基礎力の養成
- 「しま」をフィールドに就業力・社会人基礎力、リーダーシップを養成
- 「しま」カリキュラム改革
- 「しま」関連科目の増

地域では

- 教職員・学生が、全員地域に出向くことにより、交流人口が拡大し活性化する。
- 大学が地域を「つなげる」役割を果たすとともに、とき（伝統・文化）を理解し、ひと（住民・学生）、もの（特産品等）の動きを活性化させ、地域課題の解決を図る。
- 広域的な視点で諸課題の解決を図るとともに、成功した取組事例は県内の他地域に普及する。

「しまなび」プログラムとは

「しまなび」プログラムとは、本県の「しま」（対馬、杵岐、五島、新上五島、小値賀、宇久、的山大島）を佐世保校、シーボルト校に次ぐ第3のキャンパスとして位置づけ、学生が主体的・実践的に学ぶPBL学習法（project based learning 課題解決型学習法）を導入するとともに、「しま」での体験を通じて、グローバルな視点を持つとともに、ローカルな視点で地域課題に取り組むことができる人材の育成を目的とした教育プログラムです。

本プログラムは全学必修科目で、講義科目「長崎のしまに学ぶ」（4～8月）と演習科目「しまのフィールドワーク（4泊5日）」（8～9月）の2つの科目から構成され、「しま」の課題等に対し、学生自身が解決策や対応方法を考えることで、課題発見力、分析力、積極性、協調性などの社会人として求められる能力を涵養します。



2020年度 ▼

109件

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	五島1	産業（農業）（水産業）（観光）	コロナ禍における産業の柔軟化と活性化～今あるものをよりよくするために～	①五島の知名度の向上(経済の活性化、移住者の増加) ②社会問題の改善(鳥獣被害対策、人口増加)	相違点：コロナ禍でも五島の知名度の向上させられる工夫をした点。新規性：社会問題の解決と既存のものとの知名度向上を目指した。
2020	五島2	産業（農業）	川口春奈さんPR SDGsを基盤とした五島ドローンとIoTによる若者のための	SDGsに基づき、島の持続をもたせるための振興策をテーマにしている	準備万端です
2020	五島3	産業（特産品）	五島の食材のPR	・食材の価値を全国に広め、知名度を上げる。	・既存の産業に新技術を取り入れ発展を図る。・コロナ禍の中でオンラインを活用することで誰でも気軽に参加できる。
2020	五島4	人口（定住）	五島への観光客を移住者に	振興策等のしまにとっての意味・移住増加→人口増加・五島の活性化・移住への壁が低くなる・移住施策の認知	相違点 空港、港、公共交通機関の広告として、五島市の移住施策の宣伝をする点 日常的な移住生活もアピールする点 新規性 移住者向けの施設を観光客に貸し出す点 島民の"1日の生活"を動画にする点 島民目線ではなく、移住を考えているにこの視点である点
2020	五島5	産業（観光）	あべあべ！（行こう行こう）五島 サブ:五島で幸せな1日を	若い人々をターゲットに、カップルや新婚さん、家族の写真を五島の自然を生かして撮影することで、五島の良さや魅力が伝わり、五島に移住してくる人を増やすことが目的。移住者が増えることで人口減少を止めることができるのではないかと考える。	LGBTQの観点 世界遺産に登録された教会で撮影ができる 地元の食材を使った新しいレシピの考案
2020	五島2.1	環境（環境）	環境発展を基盤とした五島市の振興	観光客の増加 エコタウン化の推進 再エネ企業を就職先に提案 再エネ企業を就職先に提案というのは見学会を通して再生可能エネルギーに興味を持った高校生や大学生が就職先に選出するきっかけにもなりうるような経験ができるのではないかと考えたためである。実際に自分も高校生の時に部活動の研究発表で用いる資料作成のために見学会に参加した経験がある。その時はあくまで自分の研究発表大会の資料作成のために参加したのですが、地元の人間として発展していく地元を実際に肌で感じたいと思ったことも原因で参加した側面もある。このように現地の人に限ったことだと思われがちですが、少しでも興味があれば参加してみる価値はあると自分が経験したうえでは考える。	新規性としては既存の観光ツアーに再エネ関連のプランを取り入れることで付加価値の向上が図れる。既存の観光ツアーに再エネ関連のプランを取り入れることで付加価値の向上を図ることができる。現在、観光協会主導での洋上風力発電の見学会は実施されていますが観光ツアーとはまた別にコースが組まれているので、ただ見学会にだけ来るとなると、少し味気ないようにも感じるだろう。そこで観光地を回るツアーの中に、組み込むことで真新しいサービスが目が行きやすくなるのではないかと。
2020	五島2.2	郷土（観光）	1年中遊べる離島第1号～いつでもオンシーズン～	しまにとっての意味は、五島の知名度向上です。知名度向上のための取り組みとして、リピーターの輪を広げることが挙げられます。具体的には、オルレ参加者に特典として季節ごとの花をモチーフにした新しいコースターを製作・配布することで、収集欲を駆り立て、リピーター増加を狙います。	オルレ自体はトレッキングコースの総称として知られています。しかし、今回の振興策の新規性として、ハイキングとトレッキングを融合させることでオリジナルリティを創出します。山歩きを通して、行楽や自然とのふれ合いを体験できることがこれまでの相違点です。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	五島2.3	郷土（観光）	Go To 五島	今回は「マップと名産品」というテーマで振興策を作成した。マップという観点では若者を、名産品という視点では高齢者向けのアイデアとなっている。多方面から考えることに意味があり、新規のものだけではなく昔ながらのものを活かせるのも在住者の強みである。学生という立場から今回のしまなびへのアプローチの仕方を考え、少しでも活用されるような内容にすることが今後の島の発展にも繋がると考える。	マップはGoogleマップを使用し、だれでも書き込みができるような仕組みになっていること。また、それらが普及することによるICTの活用を促すことに期待ができる。学生のみならず、島民の方々によるアップデートが期待されて、新たな魅力の発見に繋がると考える。
2020	五島2.4	人口（定住）	ツアーをきっかけに五島市の移住者増加へ	この振興策は、島にとって、若年層や移住に興味を持っている層の獲得と、実際の移住者獲得による五島の生産年齢人口の割合の増加に繋がる。また、第二期五島市まち・しごと 創成人ロビジョン・総合計画で五島市が掲げている受け入れ態勢の充実に繋がる。具体的には、2024年までに、移住相談件数を462件、空き家バンクの成約軒数を33軒、移住者の5年間定着率を85%にするという3つの目標を達成することに繋がると考える。	これまでは、「観光客増加よりも定住者向けの振興策」が多かったが、私たちの振興策は、そのどちらも、移住者を増やすために必要と考えた。そのため、観光客と移住したい人のどちらのニーズも満たせる、且つ、観光客に移住に興味を持ってもらえるような振興策を考えたところがこれまでの相違点・新規性だと思う。
2020	五島2.5	人口（人口）	GOTO オンラインキャンプ～五島の魅力を広げる～	1つ目にコロナ禍でも五島の魅力を広めることができ、今後の観光客増加につながるという点があります。このオンラインキャンプでの体験を実際に五島に行き、行いたいと考える人が増えると考えました。2つ目に、五島の経済効果の発展です。このオンラインキャンプを通して、収益を得たり、特産品に興味を持った人が再購入してくれたりすることでの経済効果が期待できます。3つ目に、コロナ終息後の移住者増加に期待できる点です。今は、コロナの影響で観光客を増やすことはできませんが、コロナ終息後に五島を訪れたいと思ってくれる人が増えると予測されます。	このオンラインキャンプは、現地に足を運ばなくても五島の魅力を発信できるという相違点があります。今の状況にあった振興策となっており、流行りのキャンプを今までにない形で実施することができます。
2020	五島2.6	産業（特産品）	鹿革とハンドメイドの融合	シカの革の有効活用が一般的になれば、シカの駆除が現在より進み、五島の農林業の被害の緩和に繋がると考えます。また、製品の販売は島内だけでなく、インターネット上や全国のハンドメイドの店舗で販売が可能のため、たくさんの人の目につく可能性があります。最近では、SNS上でハンドメイドの制作者と購入者との交流は盛んになり、材料にこだわっている人は材料の説明までつけているため、SNSをうまく活用できれば、よりたくさんの人を知って貰える可能性は高まり、五島に興味を持ってもらえるきっかけにもなると思います。ハンドメイドでの需要が高まることで、五島のシカ革のブランドイメージが定着し新たな経済資源になり得ると考えられます。	以前は鳥獣対策がメインとなっていました。革を利用した振興策を制作することで革製品の販売がメインとなり新たな経済資源を得ることが出来ます。そして、マスクの製作キットは、現在のコロナ禍にあった商品であり、注目を集めながら需要も伸びていくと考えています。
2020	五島2.7	産業（観光）（特産品）	U「うまい」D「デリシャス」O「おいしい」N「んまい」～五島うどんを活用した人口	雇用の増加、地域活性化、魅力の紹介、少子高齢化対策の4つが今回の私たちの取り組みの様に対する意味ではないかと考えている。そのために五島うどんを主体としたイベントを考えており、具体的な取り組みとしては、「流しうどん」「わんこうどん」「食べ比べ」「お土産コーナーの設置」「店舗案内ポスターの作成」の5つが挙げられた。この5つのことを行うことで、観光客を増やす、お金を落としてもらう、街おこし、五島うどんのPRの4つの目標を達成することにつながるのではないかと考えている。	五島うどんを主体としたイベントというものがほとんど開かれていなかったため、そこに目をつけイベントを開こうという計画を立てたのがこれまでの相違点・新規性ではないかと考える。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	五島2.8	産業（観光）	観光マップで伝わる五島の魅力発信～ For foreigners～	第一に、観光へのハードルが低くなることで、外国人をはじめとする観光客の増加が期待できる。第2に、しまの産業、経済が活性化し、人々のくらしが向上する効果が得られるということ。第3に、五島の住民と外国人観光客の間に交流が生まれるということ。結果としてその交流が、特に高齢者の生きがいにつながると思われる。これらのような効果が得られることによって、住民の幸福度が高まるのではないかと考えられる。また、東京や京都などと比べて外国人観光客から見て五島の認知度は低いので、この振興策を実施することにより新たな観光地としての地位が確立すると思われる。	外国人観光客の目線にたった観光マップ写真などで分かりやすく おすすめの店舗紹介に昼夜の差別化→目的にそって計画を立てやすい 多言語に対応 割引券などの特典
2020	五島2.9	産業（特産品）	五島で行われている既存の取り組みを進化させる	しまにとっての意味は認知度が高まることによる観光客増加、既存のものを改善することで初期準備があまりかからない、どのような状況でも魅力をはっしんできるということです。	この振興策の新規性としては、リモートを用いたレザークラフトなどコロナ禍などの未曾有の事態でもしまの魅力を発信できる点です。
2020	五島3.0	産業（観光）（特産品）	運動だけじゃ終わらせない五島スポーツ合宿	振興策によって島の特産物のブランド化を図る事ができ、しまの活性化にもつながる事ができる。	島が現在進行しているプロジェクトを利用した振興策
2020	対馬1	産業（観光）（農業）（特産品）	対馬の林業を活かしたmake you happy プロジェクト	島の認知度を上げる。また、島の経済効果にも良い影響を与えようとする。	新型コロナの影響を受け、例年とは違い、観光客を対象にするのではなく、島の物に注目して振興策を考えた。
2020	対馬2	産業（観光）	廃校舎の活用～道の駅、宿、レストラン～	産業の活性化 地元の食材を取り扱うため、農業・漁業・畜産業などが活性化すると考えた。観光客の増加 団体の観光客の受け入れが可能となり、レストランは観光スポットの一つとなると思う。人口流出の抑制 道の駅はしまの人々の交流の場となり、魅力を再発見するきっかけとなると思う。	問題点である廃校舎を用いて振興策を考えた点。
2020	対馬2.1	環境（環境）	逆転の発想～海ゴミを活かしたまちづくり～	対馬に流れてくる多くのゴミの認知・処理は、島民の自分が住む島の環境への理解と、それらを処分するだけでなく、利益へと転じさせることができるという事実を伝えることが可能であると考えられる。対馬にある美しい環境を保持するだけでなく、現状維持にとどまらずより良い環境は舵を切ることができる。	振興策に「継続性」を持たせる策を含ませたのは大きな新規性だと考えられる。今までは、実現するべきそれなりの効果が認められるものなどは多数見受けられたが、その実現が中々難しいのが難点であった。しかし、このグループの振興策は、一度の実施に大きな効果は見受けられなくとも、継続的に続けることによって大きな成果を出すものである。この点は、大きな相違点であり、新規性だと考える。
2020	対馬2.2	交通（交通）	対馬の高齢者のための新しい移動手段	バスの赤字改善と島での移動手段を充実させる。現在、対馬にノンストップバスがないので取り入れることで遠い地域に住んでいる島民の移動が便利になる。	今までなかったノンストップバスやデマンド型タクシーと島民割引制度を導入した
2020	対馬2.3	産業（観光）	聖地巡礼を通じた対馬の観光振興	対馬は人口減少が進んでいることが問題となっている。そこで、移住者を増やすためには交流人口を増やさなければならぬ。聖地巡礼を通じた対馬の観光振興をすることで、交流人口を増やす手段の一つとなる。アメリカでのゲームのある月の売上において、Ghost of Tsushimaが1位になっており、アメリカ人をはじめとする外国人を呼び込むことが期待できる。今までとは違った見方で対馬の魅力を知ってもらえることができる。	今までの観光マップは、観光地やお店が記載されているだけであったが、私たちの振興策では既存のゲームを観光マップと関連付けている点において新規性を持つ。作成した聖地巡礼マップはゲームと絡めているので独自性を出すことができ、若者世代や外国人など、今までと違う客層を呼び込むことが期待出来る。また、対馬の観光マップに興味がなくとも、ゲームを通して対馬を知ることができる。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	対馬 2.4	人口（定住）	人口を増やし、女性が活躍できる島にしよう	女性を対馬に呼び込み、新しい雇用を生み出すことで、女性の移住者を増やすことができる。さらに、都会にはない雇用が創造され、島の魅力アップにつながる。また、女性の増加によって出生数が増え、子供の数も増加する。そのため、少子化対策にも繋がるだろう。	相違点として、女性にフォーカスすることで、島デザイナーのような、女性ならではの新しい雇用を生み出すことが可能となる。また、VR動画を用いた体験動画を作ることで、移住する前に仕事の内容をリアルに知ることができる。
2020	対馬 2.5	産業（起業）	おもちゃ村	1. 林業や木製商品の興味・誘引 2. 幼児がいる家族に訪れてもらうためのコミュニティづくり（触れ合いの場）	従来は、ツアーや体験などで林業を生かした活動を行っていたが、興味を抱く人々と対馬が求める若者の呼び込みとに相違点がある。
2020	対馬 2.6	産業（観光）	スマートフォン版のホームページの改善	ホームページを見やすくすることによって、より多くの人々がアクセスすることが期待され、観光客が増えることです。	これまでの相違点、新規性はホームページのレイアウトに着目した点です。
2020	対馬 2.7	産業（観光）	聖地巡礼を用いた観光で新たな層の観光客の獲得	振興策を行うことで、観光客の増加が見込み、経済効果や地方活性化、対馬の魅力を知ってもらいきっかけづくりを行う事ができると考える。また主なゲームを行って層は10～30代の若年層であるという統計が取れているため、若者の観光客が見込めると考えられる。	これまでの相違点は、テーマの振興策の内容をより具体的にし、根拠を明確にするために資料やグラフなどの参考となる材料を駆使し信ぴょう性を高めた、新規性においては、対馬の現状の課題を見出すような議論をおこない更なる深堀をし、それらの課題の解決策を新たに見出した。上記にもあるようにゲームを嗜む層は10～20代の若い層であるため新規観光客の参入が見込まれるという新規性があるといえる。
2020	壱岐 1	産業（観光）（イベント）	壱岐ウェディングプラン	①壱岐への観光客数の減少、それに伴う観光消費額の減少等 ②壱岐の神社やきれいなビーチを活用したウェディングプラン ③島の魅力を新郎新婦のコミュニティを通して広められる。④式を挙げる人の増加、それに伴い壱岐の魅力をいろいろな人に知ってもらうことによる観光客の増加。また、い壱岐にて挙式した人が壱岐に移住してくるかも（希望）⑤金銭面。また、天候不良による延期や中止の可能性。	ビーチウェディングという壱岐の海を利用した結婚プランニング。結婚という観点から人を呼び込むという案。
2020	壱岐 2	産業（観光）	冬の壱岐に来んね！	この振興策は冬の壱岐への観光客数の増加、そして空き家問題の解決という二つの効果をもたらすと考えます。冬キャンプの振興策は冬の壱岐を盛り上げ新たな観光客の獲得につながります。空き家を利用した宿泊施設の振興策は、空き家利用という少しマイナスになるかもしれない部分を紹介割引、親孝行割引など様々な割引価格で提供することで多くの人が納得する様な振興策となり、島の通年を通じた観光客の増加、新たな客層の獲得につながります。	冬の壱岐に着目し、冬キャンプという案を取り入れた点がこれまでの取り組みと異なる点だと考えます。また空き家を宿泊施設として利用するという案は今までも提案されていたと思うのですが、それにいろいろな割引やツアーを組み合わせさせた点が新しいと考えます。
2020	壱岐 3	産業（特産品）	お取り寄せビンゴ	特産物の認知度と売上の上昇。ビンゴの特典利用による観光客の増加。これらを実現すれば島への経済効果が見込める。	これまで地方の特産品をお取り寄せできるサービスは存在したが、お取り寄せしたらそこで終わりであった。しかしそこにビンゴというイベントを加えることで、利用者は楽しみながら買い物ができ、買えば買うほどお得になるためさらなる購買意欲を誘うことができる。
2020	壱岐 4	産業（観光）（農業）（特産品）	スマート農業と観光業の融合	・スマート農業の更なる発展・農業のイメージの改善・夏以外でも行える観光業	一農業と観光業の融合であることで、農業と観光業のデメリットを補えることです。また、農業と観光業の収益をそれぞれ循環させて双方の発展を目指しています。
2020	壱岐 5	教育（観光）	壱岐の神秘に迫る！一泊二日の神楽&神話ツアー	観光客数を増やし、壱岐にある神社や神楽などを多くの人に知ってもらうことができるようにするため。振興策によって、島の魅力について深く知ることができ、島に行ってみたくと思う人が増えると考えられる。	長期間かつ高額のツアーや日帰りのツアーしかなかったが、今回は低価格で壱岐を堪能してもらえるようなプランをすることを意識した。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	壱岐2.1	郷土(郷土) (観光)	神社巡りツアー(ノラガミver.)	・壱岐の特徴である神社をPRすることができる。・漫画とのコラボにより若者を島に呼び込む。・神社巡りを通して神社以外の魅力も知ってもらう。・御朱印などを利用し、壱岐=神社巡りのイメージ化	・神社と漫画のコラボ・SNSを活用した広告効果・御朱印帳の新たな使い方の提案
2020	壱岐2.2	郷土(情報)	インフルエンサーマーケティング	若者の定住と交流人口の拡大&島の知名度アップ	近年になって浸透してきているインフルエンサーマーケティングを取り入れることによる、従来に見られなかった島の振興策を考えた。
2020	壱岐2.3	人口(後継者)	壱岐で生きよう!! 空き家を利用した宿泊インターン	島内の若者の流出を防ぐためだけではなく、島の存続は厳しい。そのため、第一次産業に興味がある農業高校生に視点を向け、島外からの若者の増加を促し、島にとって大切な第一次産業の担い手不足を解消するとともに、宿泊型にすることで、移住者も増やすことができる。	農業高校生の若者のインターンを進めるだけでなく、壱岐の問題とされている空き家問題も解決できるところ。
2020	壱岐2.4	人口(人口)	壱岐~SNSで広がる輪~	しまにとっての意味は、壱岐に新たな観光地といえるスポットを作ること、日帰りの観光客だけでなく、一泊二日など宿泊での観光客の増加を図ることができる。そのため、観光産業がより盛んになり壱岐のさらなる経済循環に貢献することができると思う。また、島民にとっても、新たな憩いの場や魅力的なスポットができるため、島民同士の親密な関係の形成に貢献できるのではないかと考える。	これまでの相違点は、壱岐観光が日帰りが主流となっていたが一泊二日での観光を提案することで、壱岐島の更なる経済循環を図ることができると思う。インスタ映えの新たなスポット作りをいくつか提案することで、自然や美味しい食べ物などのこれまでの壱岐の魅力だけでなく、新たな魅力を生むことができると思う。
2020	壱岐2.5	教育(観光)	いっきに壱岐活きファミリーマラソン	経済活性化、認知度アップ	特産品を食べながらマラソンをするという点はこれまでにない企画であると思う。
2020	壱岐2.6	産業(観光) (イベント)	お見合いプロジェクト in 壱岐 ~焼酎を添えて~	島外からの観光客増加、壱岐で開催することで壱岐の知名度アップ 壱岐焼酎を提供することで壱岐焼酎の消費額増加 定住を考えてくれた人に格安で空き家を提供することで空き家の利用 振興策をすることによる収入利益 U・Iターン促進	お見合いプロジェクトで、人口増加と特産品の消費額増加を同時に行う点に新規性がある。さらに、お見合いプロジェクトは全国で盛んに行われているものではないので注目を集めることができる。壱岐焼酎を提供することで、壱岐焼酎の魅力を伝えることができるとともに、PRするだけでなくリピーターを増やすという点もこれまでと異なる点である。
2020	壱岐2.7	産業(観光)	「イキ」なレトロを味わおう	観光客の増加と空き家問題の解決。島民と観光客の交流。壱岐の知名度アップ。	空き家を利用することで壱岐の生活や文化を直に体験することができる。「壱岐ならではの」を体験できる。
2020	壱岐2.8	産業(観光)	知名度アップ大作戦~壱岐の美味しい食材を活用して~	壱岐の知名度上昇、観光客の増加、食材の売上高増加、第一次産業の活性化、地域産業の活性化といった効果をもたらすことができる。	今までの振興策は観光客をどう増やすかなど土台ができていない状態の振興策を施策していたけど、この振興策はもっと根幹の知名度という部分に着目して作ったものなので新規性があると考えられる。
2020	壱岐2.9	産業(観光) (イベント)	壱岐で活き活き縁結び~お見合い大作戦~	しまにとっての意味は3つある。1つは、壱岐定住を促すことによって少子高齢化の改善につながる。2つ目に、観光スポットを巡るので経済的効果ももたらされる。3つ目に婚活イベントを行うということで、参加者がSNSで拡散することによって島自体のPRとして発信することができる。	これまでの相違点・新規性は、2つまとめて「壱岐」という島で婚活イベントを開くことだと考える。さらに、その中で壱岐の自然と観光スポットを楽しめるというところにある。
2020	壱岐3.0	産業(観光)	壱岐ナビアプリで観光復興	五島にはしまのアプリが存在しますが、壱岐には存在しません。イベントだと観光への効果は一時的ですが、アプリだと継続的に効果を得られます。アプリをとおして島内でのクーポンなどを使うことができ観光客増加の期待が持てます。オンラインでも販売を行えるため壱岐に訪れることが難しい人でも壱岐内の特産物を買うことが可能となります。	従来の制作はイベントなど一時的なものがほとんどでしたが、アプリだと継続的に効果をもたらす期待がされます。またオンライン技術を用いた制作も現在の若い世代をターゲットにできると考えます。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	香岐3.1	産業（観光）	香岐に行きたい～エモを探しに～	島民自身が自慢できる島になる 観光客（SNSによる拡散）→行ったことがない人（興味・関心）→香岐と循環させた効果が期待できる！	QRコードを使ったマップの簡略化に成功させた。以前までのだったら写真と説明が多すぎて分かりにくいものとなっていた
2020	新上五島1	産業（農業）	有害鳥獣の捕獲と活用	・被害を抑えることで農業や林業での収益が上がる・捕獲後の活用によって新たなビジネスの確立や新上五島の知名度アップを図れる・知名度アップによって島の活性化を図れる	・新上五島町内でのICTを活用した有害鳥獣の駆除・捕獲した害獣をジビエとして販売するなど有害鳥獣を活用した新規ビジネスの確立・資金調達としてクラウドファンディングを利用し、そのリターンとして新上五島の特産である芋焼酎や芋焼酎の美容セット、椿の製品を設定すること
2020	新上五島2	産業（観光）	女性向け新上五島サイト提案	島の魅力をInstagramを使って発信することで、すぐに結果として現れるわけではないが、長期的に最新の情報を発信していくことができるため、継続的な観光客誘致ができる。島にある飲食店、宿泊施設の知名度アップも見込める。	すでにホームページは既存しているが、多くの人を対象としているため、情報が大量にあることがよい点だが、求めている情報が見つけにくいというデメリットもある。そのため、島の要望にもあった“女性”を対象としたホームページを作成することで閲覧率が上がり、情報収集がしやすくなるのではないかと考えている。また、最近の10～20代はSNSの写真から行きたいところを見つけることが多いため、Instagramと連携したホームページを作成することで多くの人目に留まりやすいような工夫を加えた。
2020	新上五島3	環境（環境）	みんなで楽しく！海をきれいに！	・海がきれいになる→海のゴミが減少し綺麗になることで、海の限りある資源を守ることができる。海岸がきれいだとポイ捨てをしよと思う人が少なくなる ・ゴミ拾いの景品として新上五島の特産品をプレゼントする→島のPRになる。そしてまた島に来ようと思ってもらえれば、観光客の増加にもつながる ・藻場の減少に関わっているウニを収穫することで、藻場の増加が期待でき、水質改善にもつながる	今までのゴミ拾いとは違って、今回の振興策のゴミ拾いでは、島外の方も対象にしている。そのため、一度ゴミ拾いに来た方に「また新上五島に来たい！」と思ってもらえるように、ゴミ拾いに参加してくれた方に新上五島町の特産品をプレゼントすることで島外の多くの方に、新上五島町について知ってもらうことができる。また、その特産品にもウニの殻などを使って藻場の減少を防ぐことにもつなげた
2020	新上五島4	産業（特産品）	新上五島の椿油はよかよ～ 一知名度アップに向けて～	・既存の新上五島のInstagramのアカウントの活性化・新上五島の椿油の知名度が上がる→購入したいと思う人が増える→市場に流通する可能性がある	・新上五島のInstagramのアカウントは既存しているが、椿油の紹介はしていない・若い女性がターゲット・広告をつけたり、ハッシュタグをつけて投稿したりすることで知名度が上がる
2020	新上五島5	産業（漁業）	IoTで照らす新上五島町の水産業	本振興策の実施で新上五島町に期待できる効果は主に次の2つである。・新規漁業参入者の増大・業務効率化 スマート漁業を取り入れることで、経験と勘で営まれていた漁業を機械化し、経験が浅くても漁業に従事できる環境を整備することで特に若年層の新規漁業参入者増大を図り、遠隔地（陸地）から漁場の状況を監視できるというスマート漁業の特徴から、不漁時の無駄な出航を防ぎ燃料費、人件費の削減、業務中の事故防止につながる。	一番の相違点・新規性は、スマート漁業システムで蓄積した漁獲量や水中カメラの映像を一般公開することで、一般市民の漁業への理解を深めたり、地元の学校で教育に活用を目指したりすることだ。当方が調査した限りでは、この取り組みは全国的に見ても存在せず、実現すればおそらく全国初の取り組みとなる。
2020	新上五島6	産業（農業）	サツマイモの生産増加～コンパニオンプランツを用いて～	在庫の確保、地産地消の促進、ブランド化の期待、生産効率・名産品の出荷量アップ	コンパニオンプランツを用いた新たな農業の仕方
2020	新上五島7	産業（特産品）	椿のワークショップの開催	新上五島の知名度アップ 椿の関連商品の売り上げ増加による経済効果	新規性→椿を料理として振舞うこと。（これまで料理として活用することはなかった。）相違点→ポップアップ形式で開催すること。（限定的なのでコストがかからない。）
2020	新上五島8	産業（観光）	新上五島町における空き家の活用	しまにとっての意味 景観を損ない、治安を悪化させ、税金問題などを抱えているデメリットしかない空き家を有効活用することで人口増加や労働者の確保、産業面での活性化などのメリットに変え復興が見込める策であるということです。	相違点・新規性 空き家を活用しワーケーションを絡めた振興策 空き家の活用方法を観光目的で貸し出すだけでなく農業、漁業、商業なども絡めた振興策であること。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	新上五島9	産業（特産品）	新上五島の椿を利用した振興策	・島に若い人々を呼び込むことができる。・新上五島の知名度を向上させることができる。・椿油の売上額を向上させることができる。	・椿油を使ったベビーケア用品の製作 ・ベビーケア用品を使ったベビーマッサージ教室の実施 ・新しいパッケージデザインの提案 ・県内の美容室への椿油製品の導入
2020	新上五島1.0	産業（特産品）	椿関連商品の売り上げ向上～クラウドファンディングをかつようして～	期待される成果・効果として上五島を含めた五島列島が掲げる椿関連商品の売り上げ向上、またクラウドファンディングという新たな資金の調達方法とリターンによる知名度向上を図ることができる。クラウドファンディングはネットを使うサービスであるため、情報が広く拡散・共有され、支援者や興味を持ってくれる人を一気に集めることができる。通常の販売では商品が多くの人に知らず知らずのうちに多くの人から知られていくが、クラウドファンディングを活用することでその時間やお金を抑えることができる。	相違点・新規性としてはクラウドファンディングにて資金を集めるという新規性を挙げることができる。今までは商品開発のみの振興策は挙げられていたが、資金集めから取り組むプランを考えているのはこれまでの大きな相違点といえる。また提案する商品も椿とかんころもちを組み合わせた商品であるためその点も新規性ということができる。
2020	新上五島2.1	教育（観光）	知って、見て、感じる	私達のグループの振興策は①リモート観光、②体験型ワークショップである。リモート観光のしまにとっての意味はコロナ禍でも島について知ってもらうことができること、ツアーガイドさんなど仕事が減った人々の雇用につながるのだ。この振興策を実施することによる効果は新上五島町の知名度を上げることができ、コロナ収束後に観光誘致をすることができる。また島の経済効果にもつながると思う。体験型ワークショップは新たな雇用の創出と特産品の宣伝がしまにとっての意味であると考えられる。	新規性としてあげられるのは遠くにいなくても島の人々と触れ合うことができる、家にいながら新上五島を感じてもらえる点である。また、今までにないのはオンラインで行うという点だ。コロナ禍でなかなか観光に来ることができなくても、オンライン上でつながることが可能である。また安全に観光することができる点も新規性としてあげられる。
2020	新上五島2.2	情報（情報）（観光）	耕作放棄地を利用した環境保全。	耕作放棄地をお花畑にする事で耕作放棄地の削減。（環境対策）お花畑を作る際に苗植えなどの活動で小学生も参加することで、小学生が自然と触れ合える機会を作る。地域住民どうしのコミュニケーションの増加。	耕作放棄地にお花畑を作り、そのうえで蕎麦が収穫できるという新規性がある。お花畑を蕎麦の花を使ってつくことで、クラウドファンディングの返礼品にもなる。
2020	新上五島2.3	情報（産業）	これぞメエ～案！ヤギむしゃむしゃ大作戦～ヤギによる耕作放棄地の整備～	しまにとっての意味として1番に考えられることは、新上五島の景観を保持することである。また、この振興策が発展することで、ヤギを介した高齢者と子どものコミュニケーション増進を図ることができるだろう。その他にも、整地した耕作放棄地を太陽光発電の設置に活用することで、しまに新たな経済効果が生まれるのではないだろうか。	耕作放棄地の整地後の太陽光発電建設や販売建物の開発を計画するというのが、従来取り組まれていたヤギの放牧とは違う点である。従来のヤギの放牧では、整地したあとの土地の活用はなく、放牧を実施した意味が無かったという結果に至っているため、今回の振興策では土地の活用方法も考案するようにしている。また、人力ではなく動物を用いての清掃という点が新規性として考えられる。
2020	新上五島2.4	情報（産業）	ひまわりプロジェクト	住民にとって暮らしやすい環境を作るだけでなく、今ある産業の発展から、新たな産業の発展まで望める島にとっても、観光客にとっても意味あるプロジェクトだと考える。	ひまわりを使ったひまわり油は日本で生産しているところが少ないため、他との差別化を図ることが出来る。
2020	新上五島2.5	交通（交通）	馬で財政回復	プランを行うことによって、お土産などの消費の機会が増え、島内の資金の循環が良くなり、島の財政が潤う。	馬を使うプランはあるにはあるが例が少なく、馬車のなかで飲食ができるなどの新規性がある。
2020	新上五島2.6	人口（人口）	新上五島の知名度向上～オンライン音楽フェス～	音楽フェスの利益の活用として、移住者の引っ越し負担、教育支援、交通整備などの島の生活環境の改善や向上を目指し、移住者のネックに感じる生活の不便さの改善を目指していきます。具体的には、移住者の引っ越しの際の費用を一部負担したり、教育支援として小学生に文房具の寄付します。そして、交通整備としては、現在新上五島では舗装されていない道が多く、交通の際の負担が大きいので、道路を整備することで、快適な交通が可能になります。	これまでの新規性は、現在注目をされているオンライン配信といったライブを行うことである。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	新上五島2.7	人口（人口）	島の魅力の拡大(仮)	新上五島の人口減少問題を解消することができる。また、新型コロナウイルスの現状を踏まえることで、今しかできない振興策を考えることができた。	相違点・新規性は、新型コロナウイルスが流行しているという状況を利用してそれを振興策に取り入れることができたところ。コロナの状況と島の人口減少問題を合わせて考えることができた。
2020	新上五島2.8	人口（人口）	よんなはれ！しえん上五島！	・短期滞在施設の利用を促進させ、さらにある一定の期間、移住してもらうことで、その施設の利用額を実質0円にするということにより、若者の労働力と労働力率の増加を促すことができ、それが島全体の人口増加につながり、さらに島の人口流出防止にもつながる。・それに、職場体験を加えることで、島の魅力を肌で感じる事ができ、島の産業の活性化につながる。	実際に短期滞在施設で、15日間で2万5000円～3万円で利用できるという制度はあるものの、それを一定の期間移住して貰えば、その金額を無料にしている、リフォーム代などの住居支援を行うことで、さらにより新上五島へ移住しやすく、人口増加を促進させる期待ができる。
2020	新上五島2.9	人口（人口）	人口減少対策 四季折々の新上五島の魅力を活かした観光プラン	観光客を増加させることにより、島の知名度アップ、資産の増加や人口増加が見込まれ、島の活性化につながる	プランが四季折々で変化し、年中楽しめることや海フェスやクイズ、御朱印巡りなどの新しい観光プランによって、どの年代も楽しめること、天候に左右されないプランであるということ
2020	新上五島3.0	産業（農業）	山羊万能説	耕作放棄地が減る、新たな観光資源ができる、高齢者福祉の充実	ヤギを使った振興策である点、アニマルセラピーにヤギを使う点、観光など様々な分野に結びつけている点
2020	新上五島3.1	産業（観光）	Maru Go! To! Shinkami! フェア!	この振興策は島にとって三つの意味を持つと考えた。一つ目は、離島といった性質上、島を訪れる人以外には知ってもらいづらい新上五島のことを多くの人に知ってもらえることである。知名度の向上に繋がると考える。二つ目は、この振興策で新上五島に興味を持った人が実際に島を訪れてくれるといった集客効果が期待できることである。他分野行うことを考えているため、興味を持ちやすく、足を運びやすくなる。島に人が集まれば飲食業や観光業が発展し、島に活気がもたらされる。三つ目は、この振興策によって生まれた外部との関わりによって、新しい可能性の拡大が期待できることである。具体的には新商品や新事業のアイデアを生み出したり、島外や他県との提携の機会となったりすることが見込まれる。	この振興策の新規性に関しては、VRを使った観光案内や、一度に様々なワークショップを開催すること、島外での新上五島の宣伝が挙げられる。新上五島町役場の方にお話だと、今まで毎年物産展は全国で開催していたものの、このように多数のワークショップを一度に開催することはなかったとのことで、またVRに関しても今まで使ったことはないとのことであった。また、先輩方にも今までの振興策の提案を伺ったところ、島内でのワークショップなど、島内に人を呼び込む形でのものが多かったとのことだった。島内での活動も島の活性化にはつながると思うが、いきなり島に足を運ぶのはハードルが高く、集客効果が薄いと見え、より多くの人に知ってもらえることのできる島外での活動というかたちをとった。
2020	新上五島3.2	産業（観光）	2泊3日ほのほの新上五島の旅	この振興策を提案することにより、細かいツアーの内容、大まかな費用を計算して提示することにより、新上五島の魅力を伝え、新上五島を訪れたいと考える人が増えるのではないかと考えました。そして、しまの人の視点に立った時に、しまの観光地を巡りながら宿泊することによって、新上五島の魅力をより知ってもらい、観光客が増えることも予想されるため、新上五島の産業・観光業の発展が見込めるのではないかと考えました。	これまでの相違点は、大まかな費用まで計算していることです。しまに実際に行って調査することが不可能であるため、その分、自分たちで調べた時に、新上五島を観光するうえで何が必要になるか、どれくらいの予算が必要になるか、どのような観光地をどのようにめぐるかなどの大まかなプランがあれば観光しやすいのではないかと、思いました。また、ツアーだけでなくお土産の紹介、新たな商品の提案なども取り入れることにより、新規性があるのではないかと、思いました。
2020	新上五島3.3	産業（農業）	新上五島町の耕作放棄地活用による経済活性化	耕作放棄地から利益を生み出すことにより、島内の経済が活性化される。またこの経済活性化により、税収が増えることで島内の福祉や保健の充実が図られると考える。さらに耕作放棄地だった土地をリスクを分散して利用することにより、実験的な作物の栽培を可能にし、新たな特産品を作り出すことも期待できると考える。	耕作放棄地を細分化、投資可能化することで、農家の負うリスクの分散と外部の需要の創出が可能になる点。また、小さな耕作地でも可能な多品種小規模農業を行うことで、それぞれの作物が苦手とする環境要因などを補い合い、さらなるリスク分散が可能である島の特色を活かした農業を行える点。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	新上五島3.4	産業（観光）（特産品）	新上五島満キツツアー～椿しか勝たん。～	私たちの振興策では島の耕作放棄地を活用した椿栽培とその椿を用いたツアーを提案しています。そのため、島に対する効果は3つ挙げられます。1つ目は、島の耕作放棄地を活用することで島における不活用の土地をしっかりと活用することです。この耕作放棄地に椿を植えることでツアーにも使用でき、一石二鳥の効果をもたらすことが可能となります。2つ目は、椿ツアーを行うことによる島の知名度向上です。ツアーの中にふんだんに椿を用いたイベントを盛り込んでいることから新上五島を椿の島として認識してもらうことができ、そこから知名度の向上を図ることが可能であると考えています。しかし、時間はかかるので即時的な効果はきたいできません。3つ目は、基幹産業に乏しい新上五島に椿の増加による基幹産業を期待できる点です。椿には椿を見るや植樹以外にも特産品として活用でき、様々な産業に転換させることができると我が班では考えております。そのため、産業面においても一定の好影響をもたらすものと考えております。以上が我が班の振興策の効果です。	まず、椿を用いたものは椿マップなど過去にもいくつか例があります。しかし、本振興策では椿を様々な面に用いたツアーとなっており、大変椿を堪能できる案となっております。そのため、目的としては知名度の向上など上記に挙げたことへと繋げていきますが、その過程においても椿を前面に押し出したツアーであり、他に例は見ないものとなっております。新規性はツアーの中にも存在し、椿の植樹体験など新上五島及び西日本では例を見ない体験事業となっております。結論として、振興策全体としても椿を前面に押し出した新規性のあるプランであり、さらにはその内容においても他には見られない独自の案を盛り込み、全体としても一つ一つのイベントにおいても新規性あふれる振興策となっております。
2020	新上五島3.5	産業（観光）（イベント）	新上五島×ウェディング～椿を活用したウェディングプラン～	1つ目は、椿の島外への知名度向上である。椿商品を活用したことによって、「新上五島といえば椿」というようなイメージを押し出すことで、新上五島と椿の知名度向上につながることを期待される。2つ目は、新上五島への経済効果である。結婚式にきたカップルやゲストに、結婚式だけでなく宿泊してそのまま長期滞在してもらうことで島内での特産品や観光での消費によって、大きな経済効果が期待される。3つ目は、本振興策のウェディングプランの認知度向上である。新上五島で挙式してくれたカップルやゲストに式の様子などをSNSで拡散してもらうことで、本振興策のウェディングプランを全国に拡散することが期待される。	本振興策の相違点・新規性の1つ目は「椿×（かける）結婚式」である。私たちが提案するウェディングプランでは、椿をテーマとした結婚式という今までにないようなコンセプトを売り出して、島外からの来訪客の新規開拓を図っていることである。2つ目は「島×結婚式」である。特産品を活用することで新上五島出身の方には懐古性や親近感を、島外から参加していただく方には新上五島らしさを感じてもらい、実際に体感してもらうことである。新上五島には結婚式を挙げるにあたり是非活用すべき特産品や場所も多々ある。それらを組み合わせることでより充実したウェディングプランを作成した。以上2つを組み合わせることで「椿×結婚式×島」という今までにない新規性・相違点を取り入れた振興策とした。
2020	新上五島3.6	産業（特産品）	JIBIE	この振興策に期待できる効果として害獣の殺処分数の減少がある。また、害獣や害獣の被害にあった作物に付加価値が生まれ、有効活用できるようことで成果として利益を見込むことが可能であると考えている。さらに、「イノシシ」や「シカ」が新上五島町の新たな特産品となることだ。	この振興策におけるしまにとっての価値と新規性は、まず、全国的に害獣を料理として提供する事例が少なく、新上五島ではそういった事例がないという点だ。そして、害獣や被害作物を資源として活用するという点だ。これまで、害として捉えられていたイノシシやシカを、食材として捉え直すことで付加価値が生まれるというのが新規性だと考える。
2020	新上五島3.7	産業（観光）	覗いてみよう！新上五島	インパクトのある振興策でSNSでの拡散により話題が集めることができる。それにより観光客の増加を見込める。島の小中学生にパネルの製作を協力してもらうことで子どもと地域のかかわりを作ることができる。漂着ごみを利用したパネルを作成することにより、環境保護にもなる耕作放棄地にパネルを設置することで景観の改善にも繋がる。	顔出しパネルを設置するという新しいインパクトのある振興策であり、子どもと地域のかかわりや、漂着ごみなどさまざまな問題への解決策を導くことができる。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	新上五島3.8	産業（観光）	自分でつくる観光プラン	①「若者」に新上五島の魅力を知ってもらうと言うことである。若者に「魅力」を知ってもらいSNS等で発信してもらうことにより新上五島に対する「認知の輪」を多くの人に広めてもらうことが可能であると考えられる。そうして新上五島を知ってもらうことで「移住者の増加」や「観光客の増加」に最終的にはつなげていきたいと考えている。②既存の観光地・宿泊所・飲食店などを利用するため観光業の底上げを図ることが可能であると考えられる。	①「観光プランを自分で作成できる」、自分で作成できるため自由度が増し、より気軽に観光を楽しむことができる。②パンフレットにARを活用しているという点。③既存の観光地や宿泊所・移動サービスなどを利用することで金銭的な負担も少ないと考えられる。
2020	新上五島3.9	産業（特産品）	しまのブランド化	振興策として①島の海からとれた天然塩、ハーブを主な材料とするバスソルトのブランド化②樽入りのバスソルト製作体験活動を挙げた。①の効果として成果・効果として、樽の知名度向上、経済効果、ほかの特産品との差別化、②の効果として現時点でバスソルトは流行しているものではない。よって、早い段階で市場を開拓しておくことは今後需要が高まった時の集客力、利益、認知度を大きく古城することができると考える。さらに、近くの冷水教会にはない矢堅目の駅の駐車場を活用してもらうことは世界遺産登録されたもの以外の教会の知名度を上げることに役立つと考える。また、振興策が形になり、知名度が上がれば新上五島のブランド化につながり、島民として誇りを持つことができるように	①の相違点、新規性について、差別化では、精油・ハーブを使用するということが新規性である。②については島の特産品である樽と塩の組み合わせは今まで広まっておらず、島の振興策としては新規性があると考えられる。また、体験型観光と教会巡りツアーの組み合わせは他の活動との相違点である
2020	新上五島4.0	産業（農業）	農業の活性化	新上五島の農産物の注目を集めることが出来る	特産品で注目を集める類似点と、野菜×餅という意外な組み合わせの新規性
2020	新上五島4.1	産業（観光）（イベント）	この新上五島で愛を誓おう	ツアー型お見合いイベントであるが、参加者に楽しんでもらうための企画内容は新上五島にまつわるものである。島を一つ利用したお見合いという事例が少ないイベントであるため、大々的に新上五島をPRできる。	お見合いとツアーを掛け合わせることによって、ただの旅行の思い出としてではなく、新上五島が男女の思い出の地になる。普通のお見合いと違い、堅苦しくない出会いを提供することで、取り繕わない姿を見ることが出来る。
2020	新上五島4.2	産業（観光）（特産品）	ポイントカードを使い観光客を増やし、地域活性化をする。	島の視点から考えると、私たちは今回島の企業（特産品を取り扱う店舗やレストランなど）に向けた振興策を考えました。島の特産品を消費してもらうことで、島への直接的な収益につながる大きなメリット、意味になるように思えます。さらに継続的に島へ来てもらうことは、その島に関する関心も高まり将来的な移住者の増加も期待できます。さらに、データをとることから観光客のニーズ調査もでき、新しいサービスの展開なども期待できると思います。	これまでと違ってポイントカードを使って島の特産品・サービスを意図的に購入・利用してもらえるように考慮していることです。これまででは特産品の紹介や情報発信などが学生発表で見受けられますが、私たちは島に来てもらって、そこで何に使ってもらうかを考えたときに「特産品を購入したり、サービスを利用するときに使ってもらおう」という考えだったので、特産品を買うことでメリットが生まれるようなシステムにしました。
2020	新上五島4.3	産業（観光）	あつまれ 新上の旅～旅行プラン、作ってみませんか？～	観光客の増加により、収益の増加につながっていく。また、この旅行がきっかけとなり、交流人口の増加、そして移住人口の増加につながる。そして、最終的に、このプランが広がっていけば、より多くの事業との連携が取れるようになり、産業の活性化につながっていく。	今まで行われていた新上五島の親子離島体験プログラムでは、新上五島で行える独自の体験が個別に実施されており、複数の体験をするにはその都度手続きをする必要があった。また、親子離島体験プログラムは、知名度が低く、インターネットで調べてもあまり情報が掲載されていなかったため、私たちは様々な体験ができるプランを考案し、それらをWEBサイトで簡単に申し込めるように工夫した。
2020	新上五島4.4	産業（特産品）	椿製品の高級路線開拓	新上五島町の象徴である椿をもっと色んな人知ってもらえることができ、さらに従来の椿製品とは違った新たな路線を開拓することで、一般消費者だけでなく、サロンやホテルなどの業界にも需要を上げられる。	これまで椿製品は多く存在するが、高級路線のものを開拓することによって、従来の比較的安価な椿製品ではなく、家でもエステにいるような満足感が得られたり、少し高価でも自分の肌に効果が実感出来る商品となる。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	新上五島4.5	産業（観光）（特産品）	将来有望 子育て世代に魅力ある新上五島	この政策を行うことで、島の知名度が上がり、商品の売り上げ・利益が上がる。そしてそれにより雇用が生まれ、従業員が増加し、島での消費が活発になる。最終的には島の経済が循環し潤うというような影響が考えられる。	新規性としては、特産物である五島うどんを離乳食として活用する点と、振興策の対象を子育て世代としている点がある。
2020	新上五島4.6	産業（観光）（特産品）	観光消費を促すために女性向けの体験型観光の提案	新たな事業を始めることでの観光客の増加。観光客の増加による経済効果。体験型観光をすることでの雇用創出。新たな特産物の創出。	ターゲットを女性に絞っていること。美容の体験ができること。
2020	宇久1	産業（観光）	うくカフェ～島産島消で活性化～	観光客の増加、農業の活性化、宇久の知名度UP	SNS映えもめざし、若者に来てもらえるようにすること
2020	宇久2	環境（環境）	宇久島の未来を守る	宇久島の魅力を島外の人々に知ってもらうためのツアーを通して、宇久の魅力が知れ渡ること、島の海岸ゴミの減少や増えているイノシシをバーベキューで提供し生かすこと、また追い出すこと、そして問題解決につながる。島の魅力を知ってもらったうえで、島の存続を脅かすメガソーラー事業についても認識してもらうことができる。それによって、宇久島の20年後、そしてその後を守ることにつながる。	メガソーラー事業にも焦点を当てている点 それぞれの課題解決だけでなく、島を守るという視点からも振興策を提案している点 宇久の良いところだけでなく悪いところも生かしたツアーを提案している点
2020	宇久3	環境（環境）	宇久の海を最大限にいかそう	宇久島にとっての意味としては、海岸清掃を行うことで、海が綺麗になることや作品作りやゴミ拾いを一緒に行う際に、島外の人と交流できること、SNSの活用による知名度アップ、観光客の増加などが挙げられます。	相違点や新規性は、観光ツアーに海岸の清掃を組み込むことやSNS利用とそれを用いた割引システム、コンテストを開催することで優勝者には宇久の特産品の贈呈があることです。
2020	宇久4	産業（特産品）	イノシシを名物にしよう！	・耕作放棄地の削減 ・雇用の増加 ・害獣被害の減少	イノシシを幼体から成体まで各成長過程に合わせて有効利用できること。
2020	宇久5	産業（観光）	キャラクターを作成し活用しよう～キャラクターで宇久の知名度up～	島の知名度を上げ、活性化をはかる（宇久島の観光客は他の島に比べて圧倒的に少なく、知名度も引い。また、宇久島のキャラクターが存在しないため、キャラクターを作成し、様々なことに活用することで島の知名度を上げる。）○成果、効果 観光客増加、経済効果up、知名度を上げる	これまでの相違点と新規性 以前の年度のグループはキャラクターを作成し、それを商品化していた。また、商品化するための金額を調べていたが、私達はキャラクターを作成した後、既存の物に活用する。そして、商品にはQRコードを添付し、ホームページにとべるようにした。
2020	宇久2.1	産業（観光）	えらべる！海チャリ 宇久満喫ツアー	ターゲットを絞り宇久チャリを活用したコースの提案によって、観光客の幅が広がり観光客増加が見込まれる。また、体験を通して海洋ごみ問題に関心を持たせる機会をつくり、環境問題解決にむけた取り組みを宇久島から発信することができる。	これまでと違うところは、環境問題に関心を持ってもらう機会をつくったこと。海洋汚染をする海洋ごみをあえて見せることによって、新しい発信を行うことができる。体験型観光を取り入れることでモノ消費からコト消費に変えることができる。
2020	宇久2.2	産業（観光）	海洋資源を活用した人口増加のための振興策	人口減少→資源の活用→知名度アップ→観光客増加→人口増加→経済の活性化→知名度アップというサイクルができる	学校単位での民宿の受け入れ、流木の再利用、単独であった活動の組み合わせ、島内外の子どもたちの交流
2020	宇久2.3	産業（観光）	新たな観光スポットの開拓～平家の伝説の秘宝を探せ！宝探しツアー～	子供用のツアーの場合、宇久島で体験学習をすることで、帰宅後に島の良さを家族に伝えることでもう一度家族で島を訪れるきっかけになり、リピーターの増加につながる。また、子供同士が仲良くなることで長い関係を築くことができる。大人用のツアーの場合、島の良さをSNSで発信してもらい、島の人が気付かないような島の魅力に気づき、新たな観光スポットの開拓につながる。	子供用、大人用と年代別にターゲットを分けたり、歴史との関連性が挙げられるが、一番のポイントは、観光客自身が島の魅力を発見することができるという点である。観光スポットではない場所でも自分の足で回ってみることで新たな魅力に気付くことができる。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	宇久2.4	環境（観光）	ploggingのプロになってみんね？～島もきれいに、心もきれいに～	ploggingを行うことで、宇久島が抱えている海岸漂着ゴミ問題の解決に貢献できる。また、plogging自体が日本ではあまり行われていないため、宇久島でploggingを行うだけで注目されることが期待できる。そのため、宇久島の知名度の向上にも期待することができる。また、島に住んでいる人たちと、島外のひとたちがploggingを通して交流することができる。そして、ploggingを通して、島に住む人たちの環境に対する意識をさらに向上させることができるといことも期待できる。	plogging自体がこれまであまり考えられていない新しい発想であると言える。また、ploggingは、お金がかからず、誰でも、どこでも行えるため、取り入れやすい振興策であるという点がこれまでの取り組みと異なる点であると言える。
2020	宇久2.5	人口（人口）（郷土）	宇久しか勝たん！～知って繋げる宇久の魅力～	参加者による宇久島の情報発信が期待できる 繰り返し来島する可能性があることにより定住への可能性が高くなると期待できる	従来の民泊ではできない幅広い体験が可能 還元制度を使ったリピーターの創出
2020	小値賀1	環境（環境）	小値賀の環境を改善し、世界に伝える	「しまにとっての意味」 磯焼け対策をすることで、魚介類が戻ってきて、漁獲量があがる。フォトコンテストを開催することで、知名度が上がリ、観光客が増加する。	〇ダイビング・シュノーケリングによる磯焼け対策・新規性：環境保全を目的としたダイビング・シュノーケリング、地元のレストランや旅館と協力すること ・強調点：磯焼けを改善することで、漁獲量があがる 〇フォトコンテスト・新規性：キャラクターグッズの作成・相違点：SNSの利用、フォトグラファーの協力、景品の工夫・強調点：SNSなどでイベントを広めて島の知名度を上げることができる
2020	小値賀2	環境（環境）	『おぢプリ』の提案～小値賀町で使えるアプリの開発～	光ブロードバンドの有効活用ができ、タクシーの予約などをアプリの機能に含むことで交通の便もよくなる。また、高齢者が積極的にIT機器を使うように促すことで、高齢者と若者の情報格差を埋めることに繋がる。大儀としては島民の生活の質を向上させるものであるが、観光客も使用できる機能（タクシー予約、動画投稿サービスに投稿された動画の閲覧など）を含むことで、小値賀の良さを知ってもらえることができ、観光客の誘致にもつながる。	アプリ開発自体に新規性がある。また、他の県や地域などで開発されたアプリには観光客向けの機能が重視されていたが、私たちのアプリでは島民向け機能のほうに重視されている点。
2020	小値賀3	人口（人口）	全国の第一次産業者を集めて交流会を開催する	後継者不足解消。労働者人口が増える。島内の魅力を知ってもらう。	小値賀の良さを利用しながら交流会という触れ合う場を作る。小値賀の自然の豊かさ、第一次産業の行きやすさを利用した交流会。
2020	小値賀4	人口（定住）	あつもり ～あつまれ引きこもり～ Let's小値賀デビュー	①人口減少、高齢化、担い手不足、引きこもりの全国的な問題 ②引きこもりを対象に小値賀での引きこもり改善プロジェクトの実施 ③島の人だけでなく島外の、これからの生活を心配する引きこもりの人自身とその関係者の方々（親など）にもメリットが多い点。④島で仕事を体験した若者がしまの魅力をしり、島で仕事を続けることで人口減少、高齢化、担い手不足などの問題を緩和する。⑤ 1. 参加者の選定方法…参加したくで参加した人や、したくないのに親などに強制された人など様々な方が存在する。その中からプロジェクトを実施しても問題のない人を選ばなければならない 2. 参加者のメンタルケア…引きこもりの人の中にはストレスがたまり精神的にきつい人も出てきますそのような人の精神的なケアが必要 解決策 1.選定方法…面談をする場を設ける。申込用紙に参加志望理由の記入欄を設ける 2. メンタルケア…引きこもり地域支援センターの人材を派遣。臨床心理士など	①については作成完了 ②については作成完了 ③については作成完了 ④については作成完了 ⑤については作成完了

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	小値賀 5	産業（観光）	古民家	カフェの新設に観光客の増加と古民家の良さを知ることによって小値賀を移住先に考えてもらう。また、島の特産品を使うことによって島の活性化につながる。小値賀人口減少を改善したい。古民家を活用して観光客が増加すると予想する。	小値賀の古民家を新しく有効活用してカフェ、雑貨や、本屋にする。その中で、小値賀ならではのメニューを考えたり、SNSに若者が発信したくなるような店、商品づくりを考えた。これらの方法で人口減少を考えた。
2020	小値賀 6	産業（観光）	SNSを活用した小値賀島の知名度アップ	SNSの活用によって知名度をあげることで観光客数の向上や人口問題の解決策にもなる。SNSに小値賀の写真を投稿することにより、不特定多数の人たちに独創的で魅力的な古民家のことだけではなく、小値賀に対する興味や関心等を持ってもらうことができる。	Instagramに投稿した人の中から月に一度最も良い投稿をした人に特典を与えることで、Instagramの投稿数を増やす。Instagramの投稿によって不特定多数の人たちに小値賀を周知してもらうことにより、新規観光客の獲得が期待できる。
2020	小値賀 7	産業（観光）（特産品）	小値賀の落花生関連産業の体験を通じた島民との交流	体験プログラムを通して小値賀の落花生産業に興味を持ってもらうこと、生産から加工、そして調理まで体験することで、しまの特産物である落花生について深く知ってもらえること、地元の生産者の方々との交流を通して、島民も観光客も楽しめる場を提供することにより、小値賀の振興に貢献できる。	この振興策の相違点は生産、加工、調理を通じた6次的な体験を提供すること、島民にも積極的に参加してもらい、島民に楽しめる場を提供することであり、新規性を有する点は6次的な体験の提供により、参加するプログラムを選択することができること。
2020	小値賀 8	産業（観光）	駆除ウニの活用 ～アクセサリで小値賀の思い出をつくらう～	・知名度の向上（観光客の増加、広告） ・体験型サービスの充実化（産業の発展） ・資源の有効活用	これまで駆除するものとして負の資源のイメージがあったウニを商品化することによって正の資源に変換しようという新しい考え方だと思います。
2020	小値賀 9	産業（観光）	小値賀スタンプラリー	いままでなかった野崎島からの人の流れを作ることで、小値賀島を訪れる人が増え、小値賀島の知名度が上がる。スタンプラリーで島を巡ってもらうことで次にまた訪れてもらえる可能性がある。	小値賀島内で何かを起こすのではなく、とりあえず、くらの気持ちで立ち寄ってもらうという発想。人の流れをまず確保することが大切だと思う。
2020	小値賀 1 0	産業（観光）	小値賀でサバイバルゲームをしよう！！	項目 1 観光客の増加、サバイバルゲームを利用した若者の集客、それに伴い小値賀の魅力を中心に発信する。さらに、サバイバルゲームを通して感じた小値賀の魅力に惚れ込んだ、若者の移住および定住。	項目 2 これまでの相違点は、島の魅力の発信だけでなく、島に新たな魅力を作ると言うところ。アクセスの悪さを利用して、小値賀の民泊の良さを伝える。
2020	小値賀 1 1	産業（観光）	小値賀の無人島であそぼ	小値賀町は進学や就職のため転出する若者が多いことが人口減少に影響を及ぼしていると考えます。若者を呼び込むことによって、島の若者不足の改善につなげ、移住促進を促します。また、小値賀町の活性化につなげます。	活用されていなかった無人島を用いることで新たな魅力に繋がります。
2020	小値賀 1 2	産業（観光）	小値賀を修学旅行の名所に！	小値賀への一定数の観光客数の確保、リピーターの確保、観光消費額の増加であると考え。リピーターの確保に関しては、修学旅行で小値賀に来た小学生が大きくなり、もう一度小値賀に来てくれることが見込めると考えました。観光客数の確保に関しては、修学旅行誘致することによって、一定数の観光客の確保が見込めると考えた。観光消費額の増加に関しては、修学旅行生のお土産代や観光体験の費用によって一定数の観光消費額が見込めると考えた。	これまでの相違点は、小学生をターゲットに絞っているところ。また、新規性としては、対象を九州内の小学校に限定し、小値賀でなければできないことを盛り込んでいるところ。
2020	小値賀 2 1	教育・文化（教育）（文化）	合唱を用いた離島振興策	・交流人口の増加・知名度アップ・島内経済の活性化・小値賀における文化振興が図れる	合唱であること 大規模であること 島外から団体を呼ぶということ 離島での前例が無いということ
2020	小値賀 2 2	医療・福祉（福祉）	片親世帯の積極的支援	片親世帯を支援する島として全国に知らせることができる。	片親世帯を島に移住してもらう際に全国にアンケート調査を実施することでニーズを探る。ホームページを見やすくする。
2020	小値賀 2 3	交通（交通）	小値賀の新しい交通事業	移動手段が増える 高齢者も移動しやすくなる 地域経済循環率の改善につながる	夜間でも休日でも利用が可能になる 地域にある車を使うことで、初期投資の削減ができる

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2020	小値賀2.4	産業（観光）	写真でつながる小値賀の魅力 ～人から人へ～	観光客が増えて、島の収入が増加。島の活性化に繋がる。	他の島で行っていない取り組みであり、GPSを用いた活動を行う点
2020	小値賀2.5	産業（観光）（イベント）	小値賀での婚活イベント	人口減少が課題で婚活支援開始→小値賀に婚活イベントがないため、島民は当該イベントに参加→以前、イベントを企画したが、失敗に終わる→「小値賀ならではの」婚活イベントを企画	相違点・新規性 相違点 新たな婚活のカタチ→体験型観光 小値賀特有のモノに触れる 新規性 定住推進生活支援サポート
2020	小値賀2.6	産業（観光）	観光ツアーを通じて小値賀の経済力up	私たちのグループは、新しい観光プランを小値賀町に提案することで、小値賀町の認知度が上がることで、経済力が上がるという効果が期待される。	小値賀町の赤砂を使ったテラリウム作りを、新旅行プランに盛り込みました。
2020	的山大島1	産業（観光）	空き家リノベーション計画	①大島には空き家が多くあることを講義中に知り、人口減少問題と繋げて解決できないかと考えたから。②空き家をリノベーションし、住宅、店舗、民宿などに変え、人口増加、経済循環を目指す。③上記の問題の解消。④上記の問題の解消。⑤なし。	これまでの相違点・新規性は、的山大島にそもそもある空き家を用いて振興策を考案した点です。空き家を活用した振興策は今までになく、島でも手付かずの家屋が複数あるというのが、新規性の証拠となります。
2020	的山大島2	産業（観光）	大島改良プロデュース	大島に人を呼び込む	・インスタ、Webサイトのどちらか一方にだけ焦点を当てるだけでなく、「人を呼び込むまで」を一つの流れとして、振興策を考えた。・Webサイトを改良するという視点。
2020	的山大島2.1	産業（観光）（情報）	ブランド化と情報発信による観光客の誘致	今ある大島の魅力を再発見、知名度アップ、観光客増加	現行の平戸のホームページでは、平戸市内の情報とごちゃ混ぜで並べられているため、埋もれてしまう。また、エリアごとに分類されているわけでも、情報をエリアで絞り込むこともできないために、大島の情報だけがほしい場合には不便。その他宿泊施設や飲食店など大島の多様な情報が1つにまとめられているサイトがない。これらの点から、大島の包括的な情報が集約されているサイトの立ち上げは新規性があるといえる。さらに、ブランド化がテーマであるためデザインなど視覚的に訴える部分を重視したところに、これまでの相違点があると思う。
2020	的山大島2.2	人口（人口）	大島の若者の増加を目指す	子育て環境を整えることで、移住者の増加を目指すこと。人口減少の問題を支援金、離島留学、高校設立の3点から若者に向けた政策で解決する。	18歳以下の子どもを対象に幅を広げた点。
2020	的山大島2.3	情報（産業）	的山大島の交通改善案～サブスクリプションを用いたタクシー事業～	島にとっての意味としては、タクシーを用いることによって自家用が減少することができます。これにより自動車にかかる維持費や自動車税の負担を軽減することができます。また、排出ガスを減らすことができますので地球温暖化防止につなげることができます。また、タクシーを使うことでバスよりも観光の幅が広がり島に落ちるお金を増やすことができます。	相違点:バスタクシーの両立によって交通体系が変わることが挙げられます。新規性:サブスクリプションタクシーを用いたタクシー事業

「地域と企業演習」最終報告会を行いました

カテゴリ：お知らせ 2020-08-25

令和2年8月21日（金）、経営学科の講座「地域と企業演習」の最終報告会を行いました。この講座は、地域の多様な経営体（道の駅や農産物直売所、商店街や鉄道会社、農漁業生産者団体等）の実際の経営の現場で、調査研究や商品・サービス開発、社会的責任活動を行うことで、地域における企業等の役割について考えることを目的としています。



報告会では、グループごとに取り組んだ調査の結果や、それに基づく様々な提案等のプレゼンテーションが行われました。また、当日は御協力をいただいた関連団体の皆様から貴重な講評をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、学生たちは様々な制約を受けながらの調査・研究となりましたが、地域の経営体を実際に知る、深い学びにつながりました。

長崎県立大学ディプロマ・ポリシー

けんさんりよく

KEN-SUN 力 ～地域から世界へ挑む長崎県立大学生～

【長崎とNagasaki】

長崎で地域を理解するとともに世界の中のNagasakiを知ること、グローバルに交流しながら地域・国際社会に貢献し、平和を創る力

【知識と知恵】

未来を生き抜く知識を修得し、それを知恵として活用する力

【尊重と主張】

他者を尊重するとともに、自己を主張し、協働・共生する力

【想像と創造】

物事を多面的・俯瞰的にとらえる想像力と新しい知を創造する力

【挑戦と継続】

未知の課題に挑戦しつつ、学びを継続する力

【自立と自律】

自立した生活と自律的な学びをする力

[このページの先頭へ↑](#)

経営学部

ディプロマ・ポリシー

経営学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 経営、マーケティング、会計等に関する専門的な知識をもとに、経営上の諸問題を発見・分析・解決できる実践的能力
3. 外国語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力
4. 他者の意見や人格を尊重しながら提案・行動をすることができる能力

カリキュラム・ポリシー

経営学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解するために必要な専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目を配置する。
3. 経営上の諸問題を発見・分析・解決し、ビジネスの場で活躍できる実践能力を育成するため、発展科目として経営・国際経営・会計等関連科目、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させ、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、ゼミナール科目を配置する。
5. 国際経営学科では、全学教育と専門教育の連携により語学力を向上させ、英語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力向上させるため、英語による授業等の科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

経営学科

ディプロマ・ポリシー

経営学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 経営、マーケティング等に関する知識・知見をもとに、経営上の諸問題を発見・分析・解決できる実践的能力
3. 会計、簿記、税務等に関する専門的な知識
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

カリキュラム・ポリシー

経営学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解する専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目並びに会社法や簿記に関する科目を配置する。
3. 経営上の課題を発見・分析・解決するための知識を修得させるため、発展科目として経営学・マーケティング分野及び会計関連分野の科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

国際経営学科

ディプロマ・ポリシー

国際経営学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 海外に事業展開している企業の仕組みやグローバルな環境を理解し、国際的なビジネスの場で活用できる実践的能力
3. 外国語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

カリキュラム・ポリシー

国際経営学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解する専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目並びにグローバルな経営に関する科目を配置する。
3. 海外に事業展開している企業の仕組みやグローバルな環境を理解し、国際的なビジネスの場で活躍するために必要な知識を修得させるため、発展科目として国際経営及び経営・経済関連分野の科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。
6. 全学教育と専門教育の連携により語学力を向上させ、英語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を向上させるため、英語による授業等の科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

地域創造学部

ディプロマ・ポリシー

地域創造学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 地域の諸課題を理解し、調査・分析できる能力
2. 政策や企画を立案するプロセスを修得し、公的団体等の政策を企画・立案できる能力
3. 経済に関する知見をもとに、地域経済動向を分析できる能力
4. 地域企業の海外事業展開などをグローバルな視野で推進できる能力
5. 他者の意見や人格を尊重しながら提案・行動をすることができる能力

カリキュラム・ポリシー

地域創造学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。また、地域創造学部の教育内容を概観するため、「地域創造概論」を配置する。
2. 公共政策や基礎的な経済理論を理解するために必要な知識を修得させるため、基幹科目として公共政策や地方政治、経済学に関する科目を配置する。
3. 地域の諸問題に関する見識を高めさせるとともに、それらの分析に必要なスキルを修得させるため、発展科目として高度な政策関連科目及び経済関連科目、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させ、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、ゼミナール科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

公共政策学科

ディプロマ・ポリシー

公共政策学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（公共政策学）の学位を授与します。

1. 地域が抱える諸問題を理解する能力
2. 社会調査及び分析手法を修得し、諸分野に活用できる能力
3. 政策や企画を立案するプロセスを修得し、公的団体等の政策を企画・立案できる能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

カリキュラム・ポリシー

公共政策学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域創造学部の内容を概観するための「地域創造概論」や、地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。
2. 地域社会が抱える様々な課題を分析・考察し、政策や企画を立案するプロセスを理解させるため、基幹科目として必要な科目を配置する。
3. 地域の諸課題に関する見識を高めるため、発展科目として高度な政策関連科目及び公共政策の諸分野に関する科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践的能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

[このページの先頭へ↑](#)

実践経済学科

ディプロマ・ポリシー

実践経済学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経済学）の学位を授与します。

1. 地域経済動向などの分析に必要な知識とスキル
2. 地域経済が抱える諸課題に関する分析能力や解決能力
3. 地域企業の海外事業展開などをグローバルな視野で推進できる能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

カリキュラム・ポリシー

実践経済学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域創造学部の内容を概観するための「地域創造概論」や、地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。
2. 地域経済動向などの分析に必要な知識を修得させるため、基幹科目として基礎的な経済理論を理解するための科目を配置する。
3. 経済の諸課題に関する見識を高めるため、発展科目として高度な経済関連科目並びに地域経済及び企業経済関連科目を配置する。また、それらの知識を統合し、実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

[このページの先頭へ↑](#)

国際社会学部

ディプロマ・ポリシー

国際社会学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（国際社会学）の学位を授与します。

1. 国際社会の構造、現状及び動向について基本的な知識を修得し、現代社会における諸問題を多面的に理解する能力
2. グローバル化する現代社会の諸課題を自ら発見し、解決に導く能力
3. メディアに関する基礎知識を修得し、自らの意見を発信する能力
4. 国際感覚と高い外国語能力に裏づけられたコミュニケーション能力を有し、地域社会や国際社会のために積極的に働きかけができる能力

カリキュラム・ポリシー

国際社会学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 国際社会に関する知識を修得させるため、入門科目として国際関係やメディア社会に関する基礎的な科目を配置する。
2. 国際社会が直面する問題の理解を目指し、基幹科目として国際政治学、国際経済学、メディア社会学、マスコミュニケーション論等の学術的知識を修得させる科目を配置する。
3. 国際社会を多角的に分析・考察できるように、発展科目としてグローバル社会の研究、地域研究、メディア研究に関する科目を配置する。
4. 論理的な表現力とコミュニケーション力を育成するための演習科目、専門知識を実践的に活かすための実践科目を配置する。
5. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
6. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。
7. 外国語教育については、全学教育科目及び専門教育において英語または中国語を必修とし、コミュニケーション能力の向上のため、外国語による授業、留学生との討論、発表等の科目を配置する。

情報システム学部

ディプロマ・ポリシー

情報システム学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
2. CGや映像、サウンドなどの各種コンテンツを制作するための感性豊かな実践的創造力
3. 情報セキュリティ分野において活躍するための基本的な知識や技術
4. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

カリキュラム・ポリシー

情報システム学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. 情報システム学部では、プログラミングやコンテンツ制作に関する知識を深めるため、学科専門科目として情報システムに関する応用科目と情報デザインに関する科目を配置する。
3. 情報セキュリティ学部では、セキュリティに関する知識を深めるため、学科専門科目として情報セキュリティ技術とセキュリティマネジメントに関する科目を配置する。
4. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

情報システム学科

ディプロマ・ポリシー

情報システム学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（情報システム学）の学位を授与します。

1. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
2. CGや映像、サウンドなどの各種コンテンツを制作するための感性豊かな実践的創造力
3. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

カリキュラム・ポリシー

情報システム学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. プログラミングやコンテンツ制作に関する知識を深めるため、学科専門科目として情報システムに関する応用科目と情報デザインに関する科目を配置する。
3. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
4. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

[このページの先頭へ↑](#)

情報セキュリティ学科

ディプロマ・ポリシー

情報セキュリティ学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（情報セキュリティ学）の学位を授与します。

1. 情報セキュリティ分野において活躍するための基本的な知識や技術
2. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
3. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

カリキュラム・ポリシー

情報セキュリティ学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. セキュリティに関する知識を深めるため、学科専門科目として情報セキュリティ技術とセキュリティマネジメントに関する科目を配置する。
3. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
4. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

看護栄養学部

ディプロマ・ポリシー

看護栄養学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 看護師または管理栄養士の国家資格を得て、高度な専門知識と実践能力を駆使して人々の健康と福祉の向上に貢献できる能力
2. 食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として、「チーム医療」の一員として活躍できる能力
3. 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または「食と健康」の中核的役割を担う栄養教諭および学校栄養職員として、教育現場で活躍できる能力
4. 看護や栄養の分野で活躍する高度専門職業人、研究者、教育者をめざすことができる能力

カリキュラム・ポリシー

看護栄養学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通専門科目として、食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として実践に活かすことができる科目を配置する。
2. 看護学科では、健康に対する基礎的理解を目的とした専門基礎科目、看護の基盤形成、看護判断力・看護技術力・人間関係形成力の養成、看護の展開能力の育成、看護の実践能力の統合を目的とした看護専門科目を配置する。
3. 栄養健康学科では、学科専門科目として栄養学の基礎知識と技術の修得および生命科学への関心を養うための専門基礎科目、各職域の管理栄養士として必要な実践的な専門知識と技術の修得を行うための専門科目を配置する。
4. 学内において修得した知識と技術を統合し、学外での実習を行い、社会性や協調性および実践的な問題解決能力を養う。
5. 養護教諭または栄養教諭免許取得を希望する学生のために、養護教諭または栄養教諭一種免許取得のための教職課程科目を配置する。
6. 「看護研究方法論」または「専門ゼミナール」に続く「卒業研究」を通して、自らが設定した課題を実験または調査研究により追及することにより、研究計画の立案力、創造力、総括力、結果の解析・洞察の能力を養う。

[このページの先頭へ↑](#)

看護学科

ディプロマ・ポリシー

看護学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護の対象である人間の理解と生命の尊厳に基づいた支援ができる能力
2. 個人や集団の健康状態を的確に捉え、生活の質の向上を目指した基礎的看護実践能力
3. 保健・医療・福祉等の他職種と連携・協働しながら、看護の専門性とリーダーシップの基礎的能力を発揮し、チームの一員として看護活動ができる能力
4. 看護専門職として、生涯にわたり看護の質向上へ向け自己学習、自己研鑽できる基礎的能力

カリキュラム・ポリシー

看護学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 教養教育の充実をはかり、人間性豊かな看護職養成のために全学教育科目単位を30単位以上とする。
2. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通科目を構成し、食と運動について理解した上で看護職として実践に活かすことができる科目を配置する。
3. 看護専門職としての実践力を備えた看護職養成のため、カリキュラムおよび学習内容の順序性を考慮したカリキュラム編成とする。
4. 地域で暮らす人々の生活と健康との関係を理解したうえで役割が果たせるように、保健医療福祉の連携と看護の役割について講義、演習、実習を通して理解できるように構成する。
5. 保健師養成を大学院教育とするが、学部における看護師養成においても地域における人々の生活の理解と健康教育支援の科目を配置する。
6. 看護職として基礎的学習の統合として「総合看護」「しまの健康実習」「災害看護学実習」を位置づける。
7. 養護教諭免許取得希望者で所定の条件を満たす学生のために、養護教諭一種免許取得のカリキュラムを配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

栄養健康学科

ディプロマ・ポリシー

栄養健康学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（栄養健康学）の学位を授与します。

1. 「食と健康」に関する生命科学・健康科学の基本的・最新の知識および技術を修得しており、それらを実践的に展開できる能力
2. 個々の対象者の病態や栄養状態の特徴に基づく栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメント能力
3. 子供たちへの食育を通じ、健康的な成長・発達を支援する能力
4. 地域社会の健康保持・増進および疾病予防に関するマネジメント能力

カリキュラム・ポリシー

栄養健康学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 専門基礎科目・専門科目の理解の前提となる科目として、初年次に化学および生物学の基礎的な内容を教授する科目を配置する。また、3年次に、実験系の卒業研究を遂行するために必要となる各種機器分析法の基礎的な原理と分析技術の理解を深める演習科目を配置する。
2. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通科目を構成し、医療や看護の知識について理解した上で管理栄養士として実践に活かすことができる科目を配置する。
3. 専門基礎科目としての『社会・環境と栄養』『生命と健康』『食べ物と健康』の各分野では、講義とそれらの実験・実習を配置し、栄養学を学ぶための基礎知識・技術の修得および生命科学への関心を養う。
4. 栄養学の基幹となる専門科目としての『栄養の基礎』をはじめ、『個人と栄養』および『栄養教育・指導』の各分野では、講義や実験・実習・演習を通し、専門知識・基本技術の修得を行う。
5. 栄養学の実践的な専門科目としての『臨床栄養』『地域栄養』『フードマネジメント栄養』の各分野では、講義および実習を通し、各職域の管理栄養士として必要な高度な専門知識と技術の修得を行う。
6. 学内において各専門科目で修得した知識と技術を統合し、総合演習を経て、病院、保健所、学校・福祉施設等の協力のもと学外での実習（臨地実習）を行い、社会性や協調性および問題解決能力を養う。
7. 本学教員の研究・教育専門分野に関わる「卒業研究」を通して最新の研究を行い、管理栄養士育成のみならず企業への就職や将来の研究者も視野に入れ、研究計画の立案力、創造力、総括力を養い、併せて実験または調査研究から得られたデータの解析・洞察の能力を養う。

[このページの先頭へ↑](#)

地域創生研究科

ディプロマ・ポリシー

本研究科は以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与する。

1. 各専攻領域に関する高度な専門知識を修得し、批判的かつ総合的な視野をもってさらなる知的創造につなげる能力
2. その知識を従事する職業や組織において活用するため、それぞれの組織のミッションを広い文脈で理解して課題を設定し解決する能力
3. 複雑性・相互依存性が強まる現代において社会・地域の諸課題と個性創出の先進経験を、自らの専門領域との関連性において理解する能力

カリキュラム・ポリシー

本研究科各専攻の教育課程は、「研究科共通科目」「専攻共通科目」「専門科目」「研究指導科目」から編成する。

相互依存関係が著しく進展し複雑化した現代社会において、専門的職業人に求められる問題把握力と俯瞰力を育成するため、研究科共通科目として「地域振興特論」と「マネジメント・リーダーシップ特論」を配置する。「地域振興特論」では、複雑性・相互依存性が強まる現代において社会・地域の諸課題の総合的理解と個性創出の先進経験を自らの専門領域との関連性において認識できる能力を修得させる。「マネジメント・リーダーシップ特論」では、専門的知識を自らが従事する職業や組織において先導的に活用し、それぞれの組織のミッションを広い文脈で理解し提案・判断する能力を修得させる。

専攻ごとにも、研究の基礎となり研究領域の学問的先端を広く理解するために専攻共通科目を配置する。

3専攻の領域に対して高度な職業人として活躍できる専門的知識を修得するため、各専攻の専門科目には固有かつ学問領域にふさわしい科目として、現代社会がかかえる諸問題に対し問題の分析、的確な判断、また問題解決のデザイン考案・提案ができる能力の修得を目的とする科目を、コースごとに配置する。

研究指導科目には、修士論文作成の研究指導を行う「特別研究」、社会人学生のための「特定課題研究」を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

地域社会マネジメント専攻

ディプロマ・ポリシー

地域社会マネジメント専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 現代社会を理解するための、経営学・経済学・社会学などの高度な専門知識
2. グローバル化・情報化が高度に進展した現代社会を、高度化組織・グローバル市場・地域社会・異文化などの視点から専門知識を活かして総合的に理解・分析する能力
3. 様々な社会的課題をグローバルと地域の両方の観点から問題発見し、導出した解決デザインを先導的に提案し組織化、実行化する能力

カリキュラム・ポリシー

地域社会マネジメント専攻では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. グローバル化・情報化が高度に進化した現代社会を、特定研究領域を超えて理解・分析する能力修得のための専攻共通科目を配置する。
2. 現代社会を理解するための、経営学・経済学・社会学などの高度な専門知識修得のために、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 専門知識を活かして、現様々な社会的課題をグローバルと地域の両方の観点から問題発見し、解決できるデザインを考え出す能力修得のための研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

情報工学専攻

ディプロマ・ポリシー

情報工学専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 進んだ情報科学の知識と技術を修得し、現代の高度情報化社会に貢献できかつ情報基盤を支える能力
2. 必要な倫理観、優れた創造性と先見性をもって、高度情報化社会における課題に先導的に取り組む能力

カリキュラム・ポリシー

情報工学専攻では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報処理技術者及び情報工学研究者として必要な、高度な専門的知識や能力を修得させるため、専攻共通科目を配置する。
2. 進んだ情報科学の知識と技術の修得を図るため、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 高度情報化社会における関連諸問題を自ら発見し、解決する能力を身に付けるため、かつ、それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

人間健康科学専攻

ディプロマ・ポリシー

人間健康科学専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 人間の健康の保持増進ならびに疾病の予防に寄与する最新の知識や技術を研究開発する能力
2. 最新の知識や技術を活用して国民の健康水準を向上させる能力
3. 地域の専門職と連携して県民の生活習慣に変革をもたらす政策を考案し、リーダーシップを発揮して保健・医療・福祉・介護領域の課題を解決する能力
4. 健康保持増進の視点に立って次世代の専門職育成に資する指導的能力

カリキュラム・ポリシー

人間健康科学専攻では教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 人のQOLの向上に貢献することを目指し、3つのコースに共通する俯瞰的な視点を涵養し、専攻の全体的な教育・研究内容について理解するための導入として、専攻共通科目を配置する。
2. 人間の健康に関して看護学実践、公衆衛生看護学、栄養科学に関する高度な専門的知識を修得するために、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 研究課題を深く探求し、発想力、思考力、分析能力を身に付け、コース領域の発展に資する研究を遂行できる能力を養成するために研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

人間健康科学研究科 栄養科学専攻 博士後期課程

ディプロマ・ポリシー

本課程では、「食や運動と健康」に関わる最新の知識や実践的技術を持ち、さらに健康の保持・増進や質の高い食生活、栄養状態の改善などを科学的に理解・追及し、専門領域の学術レベルの向上に資することにより、次に掲げる知識や能力を有する人材を育成する。

1. 専門的な知識や技術を修得して、基礎栄養科学分野や実践栄養科学分野等において国際的なレベルで高度な専門研究を推進できる研究者としての能力
2. 健康の保持・増進の視点に立ち、次世代の専門職業人を育てる教育研究指導者としての能力
3. 保健・医療・福祉分野で活躍できる高度専門職業人としての知識や実践能力および指導者としての能力

カリキュラム・ポリシー

1. 栄養科学分野におけるより高度な専門的職業人、研究者および教育指導者を育成するために、『研究支援科目』と『研究指導科目』を設置する。
2. 博士論文研究を支援するために、『研究支援科目』として「基礎栄養科学特講」と「実践栄養科学特講」を設置する。
3. 基礎栄養の高度な知識および理論を修得するために、基礎栄養科学領域の教員による「基礎栄養科学特講」を設置する。
4. 実践栄養の高度な知識および理論を修得するために、実践栄養科学領域の教員による「実践栄養科学特講」を設置する。
5. 栄養科学分野におけるより高度な専門的な研究者として必要な知識や研究開発するための能力を『研究指導科目』で養成するために、「栄養科学特別研究Ⅱ」と「栄養科学特別演習Ⅱ」を設置する。
6. 研究課題を設定し、研究計画を立案、研究方法の展開、データ収集、データ解析などを行い、健康科学を探究する学術論文および博士論文の作成に取り組むために、「栄養科学特別研究Ⅱ」を設置する。
7. ゼミ形式により、各専門分野の最新の研究成果を掲載した学術論文を精読・理解して、博士論文の研究にふさわしいよりレベルの高い知識を修得する。また、研究成果発表方法や学術誌への原稿作成方法をより深く修得することを目的として、「栄養科学特別演習Ⅱ」を設置する。

進級・卒業要件及び設定科目

学部名	学科名	進級要件			卒業要件		
		要件	科目名	配当年次	要件	科目名	配当年次
経営学部	経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日商簿記検定2級	簿記演習Ⅰ	3前
					ファイナンス・プランニング技能検定2級	ファイナンス・プランニング演習	3後
					販売士検定2級	販売・経営管理演習	3後
					日経テスト430点	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3前
					日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	
経営学部	(7)カレッジコース	日商簿記検定2級	簿記演習Ⅰ	1前	日商簿記検定1級	簿記演習Ⅱ	1後
					全経簿記能力検定上級		
		日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	税理士試験1科目		
地域創造学部	国際経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	TOEIC730点	英語実践演習	1前～2後
		TOEIC600点	英語実践演習	1前～2後			
		日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日経テスト430点 (ニュース時事能力検定2級)	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3①
国際社会学部	国際社会学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日経テスト430点	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3①
		英語選択：TOEIC600点 中国語選択：中国語検定3級	中国語	1前～3後	英語選択：TOEIC730点 中国語選択：中国語検定2級	英語実践演習 中国語	1前～3後 1前～3後
情報システム学部	情報システム学科	ITパスポート	情報技術演習	1前・後	基本情報技術者試験	情報システム演習	1・2前・後
		ITパスポート	情報技術演習	1前・後	情報セキュリティマネジメント試験	情報セキュリティ演習	1・2前・後

卒業要件の早期取得に関する目標(学科別資格等取得状況)

※3年次に卒業要件を9割以上の学生に取得させるという達成水準のため、表中の数字は3年次生の達成状況です。

※平成29年度以前は対象学科の対象学年の学生が不在のため、情報はありません。

※複数の資格が要件となっている学科において、複数の資格を取得した場合でもいずれか1つに計上しています。(重複はありません)

経営学科	対象学生数	取得率	日経TEST 430点以上	日商簿記検定 2級	販売士検定 2級	FP技能検定 2級
平成30年度	138名	63.8%	39名	9名	37名	3名
平成31年度	148名	76.4%	81名	11名	18名	3名
令和2年度	142名	73.9%	69名	5名	30名	1名

国際経営学科	対象学生数	取得率	TOEIC 730点以上
平成30年度	51名	82.4%	42名
平成31年度	66名	74.2%	49名
令和2年度	63名	79.4%	50名

公共政策学科	対象学生数	取得率	日経TEST 430点以上	ニュース時事 能力検定2級
平成30年度	119名	73.9%	35名	53名
平成31年度	119名	80.7%	26名	70名
令和2年度	119名	82.4%	56名	42名

実践経済学科	対象学生数	取得率	日経TEST 430点以上
平成30年度	132名	60.6%	80名
平成31年度	137名	69.3%	95名
令和2年度	121名	71.9%	87名

国際社会学科	対象学生数	取得率	TOEIC 730点以上	中国語検定 2級
平成30年度 (英語選択者50名 中国語選択者3名)	53名	69.8%	34名	3名
平成31年度 (英語選択者59名 中国語選択者5名)	64名	78.1%	45名	5名
令和2年度 (英語選択者56名 中国語選択者1名)	57名	70.2%	39名	1名

情報システム学科	対象学生数	取得率	基本情報 技術者試験
平成30年度	41名	43.9%	18名
平成31年度	46名	41.3%	19名
令和2年度	40名	35.0%	14名

情報セキュリティ学科	対象学生数	取得率	情報セキュリ ティマネジメ ント試験
平成30年度	37名	83.8%	31名
平成31年度	40名	82.5%	33名
令和2年度	41名	75.6%	31名

資格取得等に係る高い目標の達成状況(第3期中期計画期間)

○経営学科

▼地元企業の発展につながる提案型の卒業論文の提出

	対象者数	該当者数
平成31年度	138名	5名
令和2年度	159名	0名

※平成29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

▼資格等取得状況

	対象者数	取得率	日経TEST 500点以上	日商簿記 検定1級	全経簿記能 力検定上級	販売士検定 1級
平成29年度	141名	2.8%	4名	0名	0名	0名
平成30年度	138名	5.8%	8名	0名	0名	0名
平成31年度	138名	8.0%	11名	0名	0名	0名
令和2年度	159名	18.9%	29名	1名	0名	0名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○国際経営学科

▼国際経営に関する英語でのディスカッションやディベートに参加できるレベルまで到達させる(4年次生)

	達成率 (総合判断)	備考
平成31年度	9割	<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスコミュニケーション実践」において 成績平均75点 「海外ビジネス研修」において報告書を英語で作成 全員 「海外ビジネス研修」において英語での報告発表を実施 8割 (2割においては、受入先からの要望により日本語で発表を実施) アメリカ領事館首席領事による講演会において、英語で質疑応答 (領事からも質・内容ともに高い評価を得た) 全員参加 ベトナム領事館領事による英語での講演会及び質疑応答 全員参加
令和2年度	9割	<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスコミュニケーション実践」において成績平均76点 「海外ビジネス研修」において報告書を英語で作成 全員 「海外ビジネス研修」において英語での報告発表を実施 8割 (2割においては受入先からの要望により日本語で発表を実施) アメリカ領事館首席領事による講演会において、英語で質疑応答 (領事からも質・内容ともに高い評価を得た) 全員参加 また、「海外事情講座」でのアメリカ首席領事登壇の際の司会進行を全て学生が英語で行ったほか、ベトナム外交官による特別講演会において、非常に流ちょうな英語で質疑応答ができた学生も多く見られた。

※平成29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

▼資格等取得状況

	対象者数	取得率	TOEIC 860点以上
平成29年度	59名	5.1%	3名
平成30年度	51名	5.9%	3名
平成31年度	51名	5.9%	3名
令和2年度	72名	1.4%	1名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○公共政策学科

▼公的職場への進路を望む学生の公的職場への就職

	対象者数	達成率	公的職場への就職者数
平成31年度	67名	50.7%	34名
令和2年度	82名	54.9%	45名

※平成29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

▼資格等取得状況

	対象者数	取得率	日経TEST 500点以上	ニュース時事 能力検定1級
平成29年度	127名	3.1%	4名	0名
平成30年度	119名	5.9%	7名	0名
平成31年度	119名	6.7%	8名	0名
令和2年度	124名	5.6%	7名	0名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○実践経済学科

▼受入先企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける

	対象者数	達成率	高い評価を 受けた学生数
平成30年度	130名	31.5%	41名
平成31年度	136名	40.4%	55名
令和2年度	130名	—	—

※3年次生のうち「企業インターンシップ」参加者を対象とする。

※平成29年度については対象学生が不在のためデータなし

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学内での活動に代えたことにより、受入企業による評価は実施せず。

▼資格等取得状況

	対象者数	取得率	日経TEST 500点以上
平成29年度	133名	3.0%	4名
平成30年度	132名	15.2%	20名
平成31年度	132名	26.5%	35名
令和2年度	146名	18.5%	27名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○国際社会学科

▼資格取得状況（英語選択者）

	対象者数	取得率	TOEIC 860点以上
平成29年度	58名	1.7%	1名
平成30年度	50名	2.0%	1名
平成31年度	50名	4.0%	2名
令和2年度	64名	6.3%	4名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

▼資格取得状況（中国語選択者）

	対象者数	取得率	中国語検定 準1級※
平成29年度	3名	0.0%	0名
平成30年度	3名	0.0%	0名
平成31年度	3名	33.3%	1名
令和2年度	5名	40.0%	2名

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

※中国語検定準1級と同レベル以上の他の検定を含む。

○情報システム学科

▼資格取得・学会等発表状況

	対象者数	達成者実績	情報処理技術者試験レベル3以上	CGクリエイター検定ベーシック	CGエンジニア検定ベーシック	映像コンテスト入賞	課題解決系ビジネスコンテストやアプリコンテスト入賞	学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表
平成29年度	42名	2名	0名	0名	0名	1名	0名	1名
平成30年度	41名	7名	1名	1名	1名	8名	2名	3名
平成31年度	41名	8名	1名	1名	1名	7名	2名	4名
令和2年度	48名	9名	1名	0名	0名	1名	0名	7名

※達成者実績は実数で表記する。また、チームの場合は1チーム=1名とカウント。

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○情報セキュリティ学科

▼資格取得・学会等発表状況

	対象者数	達成者実績	国際的なセキュリティ資格	国際的なネットワークペンタ資格	情報処理技術者試験レベル3以上	セキュリティキャンプ、CTF地方大会への参加	ACM-ICPC 国際大学対抗プログラミングコンテスト上位50%以内の成績	学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表
平成29年度	42名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
平成30年度	37名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	4名
平成31年度	37名	13名	0名	0名	1名	0名	0名	12名
令和2年度	39名	6名	0名	0名	0名	1名	0名	5名

※達成者実績について、重複を除く。また、チームの場合は1チーム=1名とカウント。

※平成29年度は2年次生、平成30年度は3年次生、平成31年度以降は4年次生の数値

○看護学科

▼看護師国家試験合格状況

	対象者数	達成率	合格者数	国公立大学平均合格率
平成29年度	60名	98.3%	59名	99.4%
平成30年度	57名	100.0%	57名	98.6%
平成31年度	66名	97.0%	64名	98.3%
令和2年度	59名	98.3%	58名	99.2%

○栄養健康学科

▼管理栄養士国家試験合格状況

	対象者数	達成率	合格者数	国公立大学平均合格率
平成29年度	40名	95.0%	38名	97.7%
平成30年度	39名	97.4%	38名	96.9%
平成31年度	38名	100.0%	38名	97.9%
令和2年度	43名	95.3%	41名	96.7%

長崎県立大学大学院 地域創生研究科

令和3年度 学生募集

地域社会
マネジメント
専攻

情報工学
専攻

人間健康科学
専攻

大学院の組織図

地域創生研究科「修士課程」

専攻 (入学定員)	コース[学位]	学びのキーワード	想定される進路
地域社会マネジメント専攻 (15名)	ビジネス・マネジメント コース [修士(経営学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営管理・経営戦略 ● リスクマネジメント ● 流通・マーケティング ● 会計・税法 	企業、事業継承、地域資源を活かした起業、地域課題の解決を目指すNPO、NGO など
	経済・地域政策 コース [修士(経済学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済政策 ● 財政・地方財政 ● 公共政策 ● 地域計画 ● 地域経済 	企業、地域活性化のコーディネーター、NPO、NGO、公務員 など
	メディア社会 コース [修士(メディア社会学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● メディア ● ネットワーク社会 ● ジャーナリズム ● 比較社会 	マスコミ、メディア関連企業、地方自治体の国際部門、国際機関、観光関連事業 など
	国境離島文化振興 コース [修士(文化振興学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・離島文化 ● 国境離島史 ● 国際法 	NPO、NGOなどの諸団体、公務員、他大学の博士課程への進学 など
情報工学専攻 (10名)	情報セキュリティ コース [修士(情報工学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● データセキュリティ ● ネットワークセキュリティ ● 暗号技術 ● 情報セキュリティリスク 	国内外の情報産業各社及び関連企業、情報セキュリティベンダ など
	人間情報科学 コース [修士(情報工学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 空間情報工学 ● ヒューマンインターフェース ● 実世界情報処理 ● ソフトウェア開発 	国内外の情報産業各社及び関連企業、コンテンツ産業及び関連企業 など
人間健康科学専攻 (12名)	看護学実践 コース [修士(看護学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護管理 ● 母子看護 ● 成人・老年看護 ● 地域看護 	病院・行政・福祉施設、大学などの教育研究機関 など
	公衆衛生看護学 コース [修士(公衆衛生看護学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 公衆衛生看護 ● 保健・医療政策 ● 健康課題 ● 地域ケアシステム 	行政機関の保健師、民間企業、医療機関、大学などの教育研究機関 など
	栄養科学 コース [修士(栄養学)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能形態学 ● 機能性食品 ● 臨床栄養学 ● 生活習慣病 	食品企業(研究職)、病院・保健所・福祉施設、大学などの教育研究機関、大学院博士後期課程進学 など

地域創生研究科

地域社会
マネジメント
専攻

情報工学
専攻

人間健康科学
専攻

基本目標

本研究科は3専攻9コースの構成で、令和2年4月に新設いたしました。地域社会マネジメント専攻では地域経済と高度ネットワーク社会の実情を把握し政策立案ができるリーダーシップを担える人材、情報工学専攻では急速に進展をみせている情報科学の知識・技術を修得し高度知識社会の情報基盤を支える人材、人間健康科学専攻では看護と栄養に関する連携的な研究をベースに地域住民のQOL向上に貢献できる専門的人材の養成を目指しています。

研究科長 メッセージ

地域創生研究科長 大曲 勝久



本学ではこれまでそれぞれのキャンパスに合計3つの研究科がありましたが、これまでの教育・研究実績を基礎として、社会状況の変化や本学大学院への地域からの期待により一層応えるため、2020年度よりこれら3つの研究科を発展的に再編・統合し、新たに地域創生研究科を設置いたしました。

地域創生はまずもって問題の現状把握が必要不可欠ですが、その問題にはたいへん複雑な要素が絡み合っており、自らの専門性の枠組みだけでは十分にその目的を果たすことはできません。そこでは自らの専門性を踏まえたうえで、他の専門分野からの視点を柔軟に取り入れ、その問題に対して思考と積極的な行動を繰り返して問題解決の糸口を手繰り寄せていく力、すなわち実践的な判断力と、自らが属する組織のミッションを広く理解しリーダーシップを発揮して、課題解決に向け関係者との調整を行い、実践に結び付ける実行力の修得が求められます。

そのために、本研究科は、3つの専攻で構成し、専攻ごとにコースを置き、専門分野別の知的修練を前提としつつも、統合した研究科を構築することとし、俯瞰的かつ多面的な視点と、領域横断的な専門応用能力を涵養する教育を行ってまいります。

本研究科への皆様のご入学を心よりお待ちしております。

地域社会マネジメント専攻

ビジネス・マネジメントコース

経済・地域政策コース

メディア社会コース

国境離島文化振興コース

こんな人を求めています。

- 経営学、経済学、マスメディア、社会学等の学びを深めたい人
- これまでの経験を理論化してさらに研鑽を深めたい現職者または退職者
- 税理士資格の取得を目指す社会人または学部生
- 海外進出、国内の新規市場創出、新製品開発等を考える経営者
- 地域資源の発掘と有効活用策について調査研究したい人
- 日本企業への就職や、日本で修士号を取得したいと考える留学生
- 国境離島の文化や経済振興に主体的に貢献したいという意欲のある人

地域社会マネジメント専攻の特長

- より高度な経済分析能力が習得できる。
- 地域課題の原因や対象方法について専門的に理解することができる。
- メディア社会コースには、中国人の教員が在籍しているため、中国語と日本語で学ぶことができる。
- 国境離島の文化や経済振興に関する科目が充実している。

専攻長 メッセージ

地域社会マネジメント
専攻長

三戸 浩



「平成」の30年間、社会・経済は大きく変化しました。「少子高齢化」、すなわちマーケットの縮小と労働人口の減少。20世紀社会を支えた自動車に関わる変化、エンジン駆動からモーター駆動への変化と、運転の自動化。また、「グローバリゼーション」の流れの一方で、「地域創生、活性化」等々。これまでの政策・経営のやり方が通用しないということになります。社会・経済は変化し続け、政府・自治体も企業もその変化に対応していく必要があります。「マネジメント(経営)」とは、変化する環境に企業・組織がいかに適応してゆくか、をその内容としております。「地域社会マネジメント専攻」はグローバル化への適応と共に地域課題の解決、そして資源・エネルギー環境の変化や労働市場の変化等々に対応する必要性から創設されました。「ビジネス・マネジメントコース」では、企業・組織の環境適応=マネジメントの研究を、「経済・地域政策コース」では、「市場」という適応すべき環境とその市場と協力して社会を維持させてゆく「行政」の研究、「メディア社会コース」では、マネジメントおよび行政において決定的に重要な「情報、コミュニケーション、メディア」の研究、そして「国境離島文化振興コース」では長崎県の特徴的環境である「離島」に関する研究を行います。多くの人々が新しい社会を創っていけるように手助けをしていきたいと考えています。

情報工学専攻

情報セキュリティコース

人間情報科学コース

こんな人を求めています。

- 情報セキュリティや人間情報科学に関わる問題を自ら発見し、解決する意欲・情熱を持つ人
- 専門分野の変化や革新に対して強い関心を持つ人
- 情報工学を理解するために必要な数学、理科の知識を深めたい人
- 情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野とその周辺分野に関心を持つ人
- 高度な知識・技術を修得し、人材不足といわれる情報セキュリティベンダなど、または、コンテンツ産業などの情報産業関連企業等へ就職を目指す人

情報工学専攻の特長

- 計算機科学、通信工学、サイバー攻撃の系統的追究、情報セキュリティリスクマネジメント、ソフトウェア工学、空間情報工学、実世界情報処理、ヒューマンインターフェース等に亘る多彩な研究領域
- 国内初の情報セキュリティ学科での学びをさらに深める高度なカリキュラム
- CGや映像、サウンド等の各種メディアを駆使し、情報をデザインする人間情報科学コースのカリキュラム
- 課題設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養する研究指導

専攻長 メッセージ

情報工学専攻長

穴田 啓晃



「計算と通信、また、人間と機械の営みで作ることができる、実世界と仮想世界を融合させた未来社会はどんなものか？」情報工学専攻ではこんなことに思いを巡らします。皆様は、あらゆるものに計算・通信装置を埋め込むIoTや環境センシングの技術、膨大なデータを処理するビッグデータ処理や人工知能(AI)の技術、バーチャルリアリティや実世界コンピューティング、ドローンや自動運転といった技術、ネットワークを流れクラウドに保存されるデータに対する強固なセキュリティ技術等について耳にする機会があるのではないのでしょうか。更に、未来社会の設計指針を立てるためには人間理解こそが重要であるとも考えたことがあるかもしれません。これらのことを学術の視点から探求するのが情報工学専攻です。この専攻に、情報セキュリティコース、及び人間情報科学コースの2コースを設置します。情報セキュリティコースでは、暗号理論、データセキュリティ、セキュアな情報システムの運用、ネットワークの状況把握や攻撃検知、またリスクマネジメントといった講義科目を揃えます。人間情報科学コースでは、情報処理システムとしての人間理解、実世界のデジタルモデリング、デジタル情報処理、デジタルおよび物理レンダリングまでをカバーする講義科目を揃えます。この2コース各々から講義科目を選択し履修することも可能です。教員と共に探求したい方々をお待ちしています。

人間健康科学専攻

看護学実践コース

公衆衛生看護学コース

栄養科学コース

こんな人を求めています。

- 高度の専門知識や技術を修得したスペシャリストを目指す人
- 専門分野の修士号の取得を目指す現職の看護師や管理栄養士
- 保健師になることを希望し保健師国家試験の受験資格を得たい人
- 栄養科学の博士課程への進学を希望する人
- 高等教育機関での教育研究者を目指す人

人間健康科学専攻の特長

- 社会学系の科目を取り入れており、経済や政策の情勢を学ぶことで知識の幅を広げることができる。
- 多くのOB・OGが病院、行政機関、高等教育機関、研究機関で教育研究者として勤務している。
- 公衆衛生看護学コースでは、講義・演習・実習を通して実践力を獲得し、様々な機関で充実した臨地実習を体験することができる。
- 公衆衛生看護学コースでは、保健師国家試験の受験資格だけでなく、養護教諭二種免許状*、第一種衛生管理者免許*の資格が取得できる。

※保健師免許取得後、申請が必要です。

専攻長 メッセージ

人間健康科学専攻長

大塚 一徳



本専攻では、保健・医療・福祉に関する領域における課題解決のための高度な専門的知識や技術を創造する研究者および高度専門職業人を育成することを教育目標としています。本専攻の前身である人間健康科学研究科では、既に多くの高度専門職業人の育成実績があり、多数の修士生が長崎県のみならず全国の病院、行政機関、高等教育機関、研究機関で活躍しています。また、栄養科学コースでは栄養科学専攻博士後期課程に進学し博士（栄養科学）の学位を取得するといった、より高度な学位の取得を目指すことも可能です。さらに本専攻教員は、日本学術振興会をはじめ多くの外部資金を導入し、様々な事業との連携を行っており、産学官連携事業や地域貢献事業に参画する機会も多くあります。看護学実践コース、公衆衛生看護学コース、栄養科学コースそれぞれに、各専門分野における知識、経験、研究実績が豊富な専任教員を配置しており、各コースの連携によって、昨今の保健および医療現場で見られる複雑多岐にわたる諸問題に柔軟かつ適切に対応でき、質の高い高度な知識や技術を持った専門的職業人、研究者、指導者を育成し、社会に貢献することを目指しています。

入学者選抜

	夏季募集(修士)	冬季募集(修士) ^{※2}
入学時期	令和2年10月・令和3年4月	令和3年4月・令和3年10月
事前相談 ^{※1}	令和2年7月22日(水)～8月5日(水)	令和3年1月8日(金)～1月21日(木)
出願期間(インターネットによる出願)	令和2年7月27日(月)～8月5日(水)	令和3年1月12日(火)～1月21日(木)
試験日	令和2年8月30日(日)	令和3年2月6日(土)
合格発表日	令和2年9月4日(金)	令和3年2月12日(金)

※1 全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談(メールを含む)を行う必要があります。

※2 夏季募集で、募集人員を満了した専攻(コース)については、冬季募集を実施しない場合があります。

入試情報等の詳細については、
本学公式ホームページをご確認ください。



<http://sun.ac.jp/examination/graduate/>

出願要件

- ①学士の学位を有する者、または大学を卒業した者(卒業見込みを含む)
- ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(卒業見込みを含む)
- ③文部科学大臣の定めるところにより、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ④本学大学院の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※公衆衛生看護学コースにおいては、上記の出願要件のほか、日本の看護師免許を有する者(取得見込みを含む)とします。

出願資格審査

出願要件④による出願を希望する場合は、出願資格認定申請を行い、出願前に出願資格認定を受けることが必要です。

【出願資格認定申請期間】

(夏季) 令和2年7月6日(月)～7月13日(月)

(冬季) 令和2年12月15日(火)～12月22日(火)

※詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

入学料

- ①県内生 176,500円 ②県外生 353,000円

※「県内生」とは、i) 本人又は、その配偶者若しくは一親等の血族が令和2年4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者、または、ii) 長崎県立大学の学部卒業見込の者をいいます。

選抜区分と試験内容

専攻/コース	一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜			
	専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接	
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメント	○	○ ^{※1}	○	—	—	○	○	—	○
	経済・地域政策	○	○ ^{※1}	○	—	—	○	○	—	○
	メディア社会	○	—	○	—	—	○	○	—	○
	国境離島文化振興	○	—	○	—	—	○	○	—	○
情報工学専攻	情報セキュリティ	○	○	○	—	—	○	—	—	○
	人間情報科学	○	○	○	—	—	○	—	—	○
人間健康科学専攻	看護学実践	○	○ ^{※1}	○	○	○ ^{※1}	○	—	—	—
	公衆衛生看護学	○	○ ^{※1}	○	○	○ ^{※1}	○	—	—	—
	栄養科学	○	○ ^{※1}	○	○	○ ^{※1}	○	○	○ ^{※1}	○

※1 英語の試験は、外部試験のスコアによって免除することができます。英語(該当区分のみ)の試験は、辞書持ち込み可。

授業料

修業期間	1年目		2年目		3年目		4年目		総額	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
標準(2年)	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	1,071,600	
長期履修	3年	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	—		—
	4年	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950		133,950

※授業料の金額は、現行の規定によるもので、変更になることがあります。

奨学金

日本学生支援機構奨学金：貸与月額（令和2年度実績）

区分	第一種(無利子)	第二種(有利子)
修士課程	50,000円または88,000円	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円のいずれか

※上記以外にも地方公共団体、財団法人などの奨学金制度があります。

修了要件

大学院に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文等の研究の成果の審査に合格すること。ただし、公衆衛生看護学コースにおいて保健師国家試験受験資格の取得を希望する者は、大学院に2年以上在籍し、所定の単位(60単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査に合格すること。

社会人学生等への配慮

長期履修学生制度

標準修業年限(2年)を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。納付する授業料の総額は標準修業年限で履修する学生と同額です(上記「授業料」をご確認ください)。また、在学中の期間変更等も柔軟に対応します。

昼夜開講制度

夜間等に履修できるよう配慮します。志望する教員との事前面談の際にご相談ください。

※公衆衛生看護学コースは対象外

その他特長的な制度

早期修了制度

本学大学院規定の修了要件の特例「優れた業績をあげた者」として認められた場合、修業期間(通常2年)を短縮し、修了することができます。

※公衆衛生看護学コースは対象外

先取り履修制度(長崎県立大学 学部より進学した者のみ)

大学院授業科目を学部生のうちに履修し、本学大学院に進学後、当該専攻が定めた上限単位数(最大で10単位)の範囲内において、大学院の修了に必要な単位として認定することができます。

お問い合わせ ※専攻・コースごとに問い合わせ先が異なります。

地域社会マネジメント専攻

- ビジネス・マネジメントコース
- 経済・地域政策コース

佐世保校 学生支援課学生グループ

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123

TEL 0956-47-5703

- 地域社会マネジメント専攻 ●メディア社会コース ●国境離島文化振興コース
- 情報工学専攻
- 人間健康科学専攻

シーボルト校 学生支援課学生グループ

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL 095-813-5065

プレゼン評価のためのルーブリック

氏名 _____

	優れています (2)	もう少しです (1)	改善が必要です (0)
声 量	教室全体に声が届いており、最初から最後まで、内容がよく聞き取れる。	教室全体に声が届いているが、時々、内容が聞き取れないことがある。	発表全体を通して、教室全体に声が届かず、端では内容が良く聞き取れない。
視 線	発表全体を通して、聴衆を見ている。	発表中に、聴衆を見ていないことがある。	発表全体を通して、聴衆を見ていないことが多い。
内 容	わかりやすい順序で内容が構成されており、聞き手が理解しやすい。ポイントも強調されている。	内容の順序については、改善の余地が若干あり、聞き手が理解しにくい部分がある。ポイントもやや不明瞭である。	わかりやすい順序で内容が構成されておらず、聞き手が理解に苦しむ。ポイントが不明瞭である。
熱 意	やる気、人を動かす熱意も十分表現されている。	やる気がないわけではないが、熱意が表現されていない。	やる気が表現されておらず、表面的に発表をこなしているように見える。
質疑応答	質問を正確に理解しており、応答が的を射ている。応答は誠意あるものになっており、やり取りが建設的である。	質問をある程度把握している様子であるが、応答が的を射ていない。応答は誠意あるものになっており、やり取りが建設的である。	質問を正確に理解していないために、応答が的を射ていない。応答に誠意が感じられない。
発表時間	発表時間は、規定時間内であり、ぎりぎりまで有効に時間を使っていた。	発表時間は、規定時間内であったが、若干早くもしくは超過して終了した。	発表時間は、規定時間を過ぎた。もしくは大幅に早く終了した。
グループワーク (必要に応じて使用)	メンバー間のコミュニケーションが十分に取れており、協力して発表を進めているように見える。	メンバー間でのコミュニケーションや協力体制はある程度とれているが、熱意が感じられないメンバーがいる。	メンバー間でのコミュニケーションが取れておらず、一人に任せきりになっている。もしくは一人が勝手に発表を進めているように見える。
【コメント】			

レポート評価のためのルーブリック

氏名 _____

	優れています (2)	もう少しです (1)	改善が必要です (0)
自分の主張とその根拠の説明	主張が明確で、その根拠づけに説得力がある。	主張があまり明確ではない。または、主張の根拠づけに不十分な点がある。	主張がない。または主張の根拠づけがないか、不適切である。
構成の明快さ	段落や全体の構成が、内容や論理にしたがって明快になされている。	段落や全体の構成がある程度できているが、なお不十分な点がある。	段落や全体の構成に一貫性がなく、不明瞭である。
文章の体裁	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが全くない。	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが少ない。	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが多い。
文中および引用文献欄での引用文献の書き方	文中の引用や引用文献欄の書き方に誤りがない。	文中の引用や引用文献の書き方に正しくない箇所がある。	文中の引用や引用文献欄の記載がない。
【コメント】			

R2年度 FD研修会実施一覧

全学FD研修会

開催地	開催日	参加人数	テーマ	概要
※春FD オンラインにて開催	4/14	佐世保校43名 シーボルト校62名 計105名 ※その他、非常勤講師25名参加	遠隔授業導入について	遠隔授業に関する様々な知識を共有し、学生への効果的な課題の提示や遠隔授業だからこぞできる面白い授業展開など、新しい仕組みへの対応について教員一人ひとりが考えさせられる有意義な機会となった。
※夏FD オンラインにて開催	9/29	佐世保校56名 シーボルト校86名 計142名 ※その他、非常勤講師、事務職員等33名参加	遠隔授業と学生調査のふりかえりによる今後の教育改善について	遠隔授業の実践事例について知見を共有し、全国的な学生の実態調査の動向や本学における学生の実態調査結果を確認した。遠隔授業の授業実践について教員からのコメントを受け、今後の教育改善への生かし方を検討した。また、遠隔授業における学生のケアについては、佐世保校保健室の深江先生よりお話をいただき、今後、学生に必要なケアについて考える機会となった。
※冬FD	3/24～3/31 (オンデマンド開催)	佐世保校47名 シーボルト校80名 計127名	クォーター制の振り返り	到達目標1.クォーター制への移行がもたらした学生や教員への影響について、プラス・マイナス両面から捉えることができる。到達目標2.クォーター制の特性を活かす授業やクォーター制と遠隔授業との組み合わせについての事例から、自らの今後の教育に活用する方法を考えることができる。

学部FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
経営学部	1/27	経営学科13名 国際経営学科10名 センター長、理事長 計25名	パワハラ防止法に学ぶ『ハラスメントへの対処法』	パワハラ防止法等に関して研修を受けた。本研修は、研修に参加した教職員がパワハラ加害者にならないことを目的としていた。故意に身体的な攻撃をする従業員は処分をすることがあること、故意ではなく過失で精神的な攻撃をした場合でもパワハラに該当する可能性があること等を教示して頂いた。
地域創造学部	11/18	公共政策学科13名 実践経済学科12名 その他3名 計28名	①「教育と職業の界をつなぐインターンシップ」 ②「新型コロナ下でのインターンシップ」	①九大名誉教授の吉本先生より「教育と職業の界をつなぐインターンシップ」として大学教育とインターンシップが学生の卒業後のキャリア形成にどのような影響を与えるかについて教示して頂いた。 ②久留米大学の江藤先生からは、「新型コロナ下でのインターンシップ」としてコロナ禍でのインターンシップの状況と久留米大学の取り組みについて教示して頂いた。
国際社会学部	10/14	19名	学生調査のふりかえりと学科アセスメントの活用	2019年度のALCS学修行動比較調査結果の学科別の集計結果をもとに、各学科での学生の特徴の把握、教育改善の検討を行い、その結果を共有し意見交換を行い今後の指導と学生の学びの資料として役立てた。
情報システム学部	11/11	情報システム学科10名 情報セキュリティ学科10名 計20名	遠隔授業について	情報システム学部の全教員が出席した。青木先生が実施しているGoogle ClassroomとYoutubeを使用した遠隔授業について、青木先生より45分の説明が行われた。その後、25分間質疑応答が行われた。 ■ 説明 添付している資料と実際のシステム上で説明が行われた。 ※ 添付資料 (UI/UXの工夫について.pdf, オブジェクト指向プログラミング演習 (配信前).pdf, オブジェクト指向プログラミング演習第14回.pdf) ■ 質疑応答 4名の先生から多数の質問が行われた。
看護栄養学部	11/11	看護学科23名 栄養健康学科16名 計39名	夏FDアフター企画 ALCS学修行動比較調査の学科毎検討結果の共有と意見交換	2019年度のALCS学修行動比較調査結果の学科別の集計結果をもとに、各学科での学生の特徴の把握、教育改善の検討を行い、その結果を共有し意見交換を行い今後の指導と学生の学びの資料として役立てた。

学科FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
経営学科	10/21	15名	学生調査のふりかえりと学科アセスメントの活用	2019年度のALCS学修行動比較調査結果の学科別の集計結果をもとに、各学科での学生の特徴の把握、教育改善の検討を行い、その結果を共有し意見交換を行い今後の指導と学生の学びの資料として役立てた。
国際経営学科	10/7	10名	with/afterコロナ見据えての学科での教育方針や研修の在り方について	今回のコロナ被害により、学科での研修がすべて中止された。この研修の中止により学生は海外での企業研修の機会が失われ、海外に対するモチベーションも衰退気味である。このような状況を踏まえ、コロナ被害が治まったとしても今後の教育の在り方は事前に深く検討する必要がある。また、このコロナ被害により「グローバル」の定義や概念も変わりつつある。この2つの視点から学科での教育方針や各研修の在り方などにつき、学科全体で検討を重ねた。なお今後も継続的に研修を重ねより良き方向性を模索する予定である。
	11/11	9名	after コロナにおけるグローバル人材育成 ビジネス研修代替策を振り返り次年度からのグローバル教育に生かす	今年度はコロナ被害拡大を鑑みてビジネス研修を中止した。その代替策として「ジェトロオンライン講座」を実施。対象となる学生は全員受講した。受講後にはアンケートとヒアリング調査を行った。その結果を参考にしながら、今後学科として進むべき研修の在り方につき意見交換を行い、今後も引き続き検討を重ねグローバル人材育成の方向性を大学へ提案の予定である。
公共政策学科	3/30	公共政策学科19名 事務局2名 計21名	令和2年度公共政策学科FSD研修会	コロナ禍で大きな影響を受けた学科教育に関して教職員が直面した問いかけは、オン・オフラインにまたがって多様化した教育空間が活用できるこれからの学科教育では何を教えて学ばせるか、どのように学生を評価するか、技術の活用にはどれほどのレベルが妥当であるかなどに関することである。そのような観点から、1年間の遠隔授業および実践教育について振り返って教職員間の意見交換する場を設けた(話題提供者:寺床先生、川崎先生)。(備考:夏FDのアフター企画の性格も受け持つ。)
実践経済学科	2/24	14名	学生生活実態調査結果分析に学ぶ	学生生活実態調査結果がまとまったため、その中から特徴ある部分を抽出し、「調査から見える学生像」の現状と課題について議論した。
情報システム学科	11/18	10名	夏FDアフター企画	2019年度のALCS学修行動比較調査結果の学科別の集計結果をもとに、各学科での学生の特徴の把握、教育改善の検討を行い、その結果を共有し意見交換を行い今後の指導と学生の学びの資料として役立てた。
情報セキュリティ学科	10/27～ 10/30(メールにて議論)		学生調査のふりかえりと学科アセスメントへの活用	2019年度のALCS学修行動比較調査結果の学科別の集計結果をもとに、各学科での学生の特徴の把握、教育改善の検討を行い、その結果を共有し意見交換を行い今後の指導と学生の学びの資料として役立てた。

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
看護学科	4/21	—	オンライン授業 講義シミュレーション	2020年4月21日～公開された立石教授によるオンライン授業を第1回FDとして位置づけ、看護学科教員全員が視聴し、オンライン授業の参考にしている。 トピック:新型コロナウイルスについて
	9/23	24名	看護学科における オンライン授業の実際	発題者 平田先生:テーマ:「地域保健活動論」のオンライン授業内容について 堂下先生:テーマ:精神看護学概論のオンライン授業について FDのねらい:今回のFDでは「上手く出来たこと」だけを講義するのではなく失敗談や、できなかったこと、心配だったこと、不安だったこと、これからのこと等々、互いに学びあうような時にする。 14:00:FD委員長あいさつ(李) 14:05～16:20:平田先生先生(15分) 14:20～14:35:堂下先生(15分) 14:35～14:55:発題者・参加者間での意見交換(20分)
栄養健康学科	7/17	13名	新しい生活様式 新しい学習様式 新しい指導様式	教育開発センターや学生支援課によるオンデマンドの技術的な授業サポートがかなり充実してきました。それらを使って第1Qの授業と定期試験を実施してきたところで、栄養健康学科の授業で困ったこと、第2Qで不安に思うことを事前に情報収集をしました。今回はその情報を柱に、対応方法のアイデアを学科内で出し合ったり、共通理解しておいたほうがいい点についての話や、オンラインで定期試験をする良い方法があるか(既の実施した先生からの経験を聞く)、について話し合いをしました。

大学院FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
地域創生研究科	10/30	49名	地域社会マネジメント専攻における遠隔授業の 在り方	専攻の大学院生に対して「遠隔授業に関するアンケート」を行い、その結果に対し、専攻所属の教員にアンケート形式で考えてもらい、後期からの講義の取り組み方の参考にもらった。
人間健康科学研究科	8/12	22名	学内ネットワークドライブ の利用(再入門)と効率的 な情報共有ツール Slack の紹介	オンライン授業で必須の知識である学内ネットワークドライブの利用についてその概念と利用法の基本及びセキュリティについて研修を行った。さらにビジネスSNSであるSlackの紹介と基本的利用法について実習も交えた講義と演習を行った。

「やるばいプロジェクト」実施状況

令和2年度(2020)採択プロジェクト

音楽の力で地域の活力を取り戻そう!

プロジェクト名	音楽の力で地域の活力を取り戻そう!
構成メンバー	経営学科(8名)、公共政策学科(9名)、実践経済学科(7名)
主な活動実績	市内公民館で演奏会を行った。感染症対策を徹底した上で、季節にあわせた選曲でアンサンブル演奏を行った。
概要	新型コロナウイルスにより活動が制限される中、本プロジェクトにより活動の幅を広げることができました。次年度は、演奏の録画をし、付近の幼稚園や介護施設へのCD配付等を行うなども予定しています。前向きに音楽に向き合い続けますので、これからも応援よろしくお願います。



もの録プロジェクト

プロジェクト名	もの録プロジェクト
構成メンバー	経営学科(1名)、国際経営学科(1名)、公共政策学科(2名)、実践経済学科(4名)
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 相浦地区で撮影された古写真の収集とデジタル化(47件、約1100枚) 写真集「すぎゆく時と私たちの町 あいのうらの輝く瞬間」の制作と公共施設・飲食店への配布
概要	<p>「見つけにいこう、あいのうらの宝を」というテーマのもと、特に長崎県立大学の学生に向けて、「ないものねだりではなく、あるもの探し」の魅力をお届けし、日々の生活に感動の瞬間をさらに創出することを期待する写真集の制作プロジェクトを行った。</p> <p>大学周辺地域である相浦地区に出掛け、各家庭に眠っている昔の写真を提供いただき、取材・記事作成・編集・写真選別・デザインなどのデータ作り・印刷発注まで、一連の流れをメンバー自身で手掛けてきた。フィールドワークは、写真の受け取り訪問と記事に関するインタビュー訪問、チームでの全体ミーティングについて、5・6・7月は週1回、8・9・10・11・12・1月は週2回行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、電子媒体なども活用し、地域の方々への配慮と柔軟な対応を心掛けてきた。</p>



「もの録プロジェクト」の活動で制作した写真集を学長に贈呈しました

カテゴリ:お知らせ 2021-04-16

学生が自主的に企画・運営する活動(大学や地域の活性化につながるもの)に対して、大学が奨励金を交付し支援を行っている『長崎県立大学やるばいプロジェクト』!

令和2年度は、「音楽の力で地域の活力を取り戻そう!」、「もの録プロジェクト」の2つのプロジェクト活動が実施されました。

活動詳細は[採択プロジェクト](#)を御覧ください。

「もの録プロジェクト」の活動では、「見つけにいこう、あいのうらの宝を」をテーマとし、大学周辺地域での「ないものねだりではなく、あるもの探し」の楽しさ、面白さ、魅力を特に本学の学生に対して発信・共有することを目的に写真集を制作しました。

制作した写真集を、実践経済学科4年生の平林さんが代表して学長に贈呈しました。

贈呈後は写真集を見ながら、制作する中で地域の方々から伺ったお話や活動の中での苦労話など、学長と平林さんで歓談が行われました。



就職状況

<佐世保校>

(単位:%)

	経営学部			地域創造学部			経済学部				計 (①~⑦)
	経営学科 ①	国際経営 学科 ②	計 (①+②)	公共政策 学科 ③	実践経済 学科 ④	計 (③+④)	経済学科 ⑤	地域政策 学科 ⑥	流通・経営 学科 ⑦	計 (⑤~⑦)	
R2年度	96.8	95.7	96.5	99.1	97.4	98.2	75.0	66.7	100.0	80.0	97.0
31年度	98.3	97.5	98.1	99.0	100.0	99.5	92.3	100.0	100.0	96.9	98.8
30年度							99.3	100.0	99.2	99.5	99.5
29年度							97.8	98.4	96.8	97.7	97.7
28年度							100.0	97.1	98.5	98.4	98.4
27年度							97.5	96.7	96.2	96.8	96.8
26年度							95.6	97.1	96.9	96.5	96.5

<シーボルト校>

(単位:%)

	国際社会学部	情報システム学部			看護栄養学部			国際情報学部		計 (⑧~⑭)	
	国際社会 学科 ⑧	情報システム 学科 ⑨	情報セキュリ ティ 学科 ⑩	計 (⑨+⑩)	看護学科 ⑪	栄養健康 学科 ⑫	計 (⑪+⑫)	国際交流 学科 ⑬	情報メディア 学科 ⑭		計 (⑬+⑭)
R2年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.6	98.9	100.0		100.0	99.1
31年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0
30年度					100.0	100.0	100.0	97.3	98.4	97.8	98.6
29年度					100.0	100.0	100.0	98.6	96.8	97.7	98.9
28年度					100.0	100.0	100.0	95.9	100.0	97.6	98.6
27年度					100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
26年度					100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和2年度卒業生 主な就職先

☆経営学部

経営学科	JR長崎シティ、佐々木冷蔵、十八親和銀行、佐世保市総合医療センター、SBSホールディングス、シモハナ物流、トランスコスモス、リコージャパン、岡三証券、ブルボン、ペイロール、九州労働金庫、大分県信用保証協会、富士急行、トーマツ、厚生労働省、財務省、長崎県警察、大分県庁、宮崎市
国際経営学科	アイティーアイ、十八親和銀行、大島造船所、大阪鋼管、フェニックスリゾート、富士通ゼネラル、北鉄航空、国分九州、佐川グローバルロジスティクス、三菱電機プラントエンジニアリング、山崎製パン、全国農業協同組合連合会、鳥越製粉、日本アイ・ビー・エム、日本通運、不二貿易、福岡倉庫、福岡国税局

☆地域創造学部

公共政策学科	ハウス流通、エレナ、長崎銀行、九州ワーク、ララコープ、長崎県央農業協同組合、長崎県商工会連合会、えがお、大分銀行、電通国際情報サービス、丸三証券、広島電鉄、宮崎大学、三菱電機住環境システムズ、全国酪農業協同組合連合会、東海澱粉、防衛省共済組合、法務省、福岡国税局、九州経済産業局、九州運輸局、長崎県庁、長崎県警察、福岡県庁、長崎市、大分市役所
実践経済学科	十八親和銀行、協和機工、西肥自動車、長崎県公立大学法人、長崎県信用保証協会、NECネクサソリューションズ、トランスコスモス、NOVA、ペイロール、レイメイ藤井、宮崎ガス、三菱電機ロジスティクス、全国農業協同組合連合会、大和冷機工業、日本賃貸保証、厚生労働省、長崎県庁、熊本県庁、長崎地方裁判所、長崎市、高松市消防局

☆国際社会学部

国際社会学科	オリックス生命保険、十八親和銀行、チューリッヒ保険会社、ディーエスブランド、ニーズウェル、ブライダルコスチューム・スエヒロ、松藤グループ、リコージャパン、青山商事、ヴァーナル、エプソン販売、関通、JR西日本ヴィアイン、双日、西日本鉄道・国際物流事業本部、ラルフローレン、北海道警察、長崎市、九州工業大学、九州文化学園、純心女子学園、長崎県建設工業協同組合
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

☆情報システム学部

情報システム学科	NBC情報システム、NDKCOM、ディーソルNSP、メルコアドバンスデバイス、アイコム、岡山トヨタシステムサービス、京セラコミュニケーションシステム、協和エクシオ、ケイ・ビー・シー映像、さくら情報システム、セイノー情報サービス、ゼンリン、東京ソフトウェア、西日本情報システム、ビーウィズ、総務省九州総合通信局、長崎市、全国健康保険協会
情報セキュリティ学科	NBC情報システム、アイコム、インターネットイニシアティブ、NECソリューションイノベータ、QTnet、京セラコミュニケーションシステム、サイボウズ、GMOインターネット、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、T&D情報システム、TDK、デンソーテン、東京海上日動システムズ、富士通、三菱電機インフォメーションネットワーク、ラック、リコージャパン

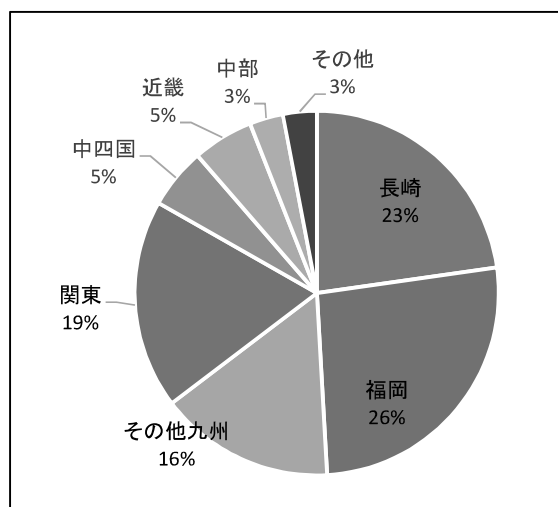
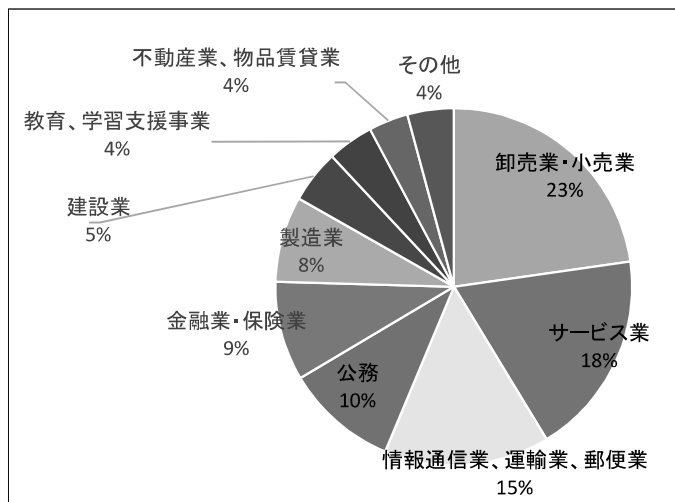
☆看護栄養学部

看護学科	諫早総合病院、大村市民病院、済生会長崎病院、佐世保中央病院、長崎北病院、長崎原爆病院、長崎原爆諫早病院、長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、九州医療センター、九州がんセンター、九州中央病院、小倉記念病院、国立がん研究センター中央病院、福岡大学病院、福岡和白病院、長崎県教育委員会、佐賀県教育委員会
栄養健康学科	進徳保育園、住吉こども園、大光食品、つきやま産婦人科、長崎大学病院、にしだ歯科医院、富士産業、社会福祉法人みのり会、あきんどスシロー、魚国総本社、栄食メディックス、シダックス、信和保育園、社会福祉法人豊の里、日清医療食品、山梨罐詰、リョーユーパン、LEOC、厚生労働省管轄検疫所(東京検疫所)

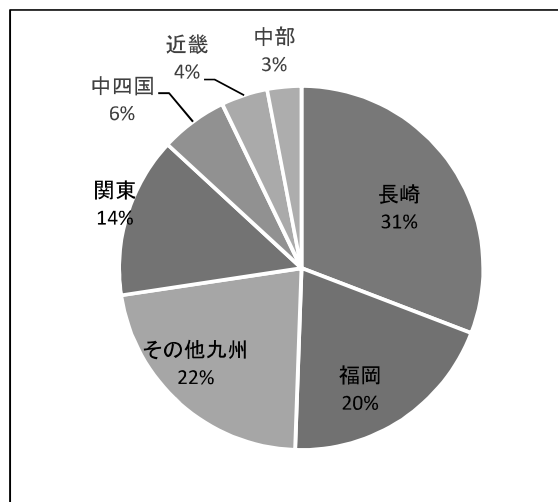
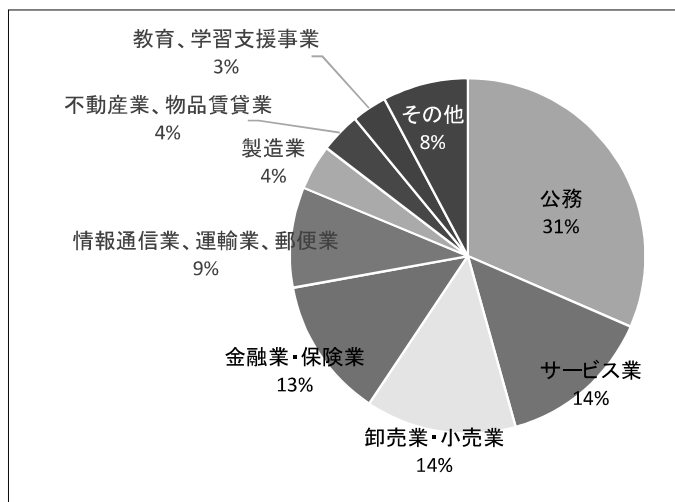
●業種別就職状況

●地域別就職状況

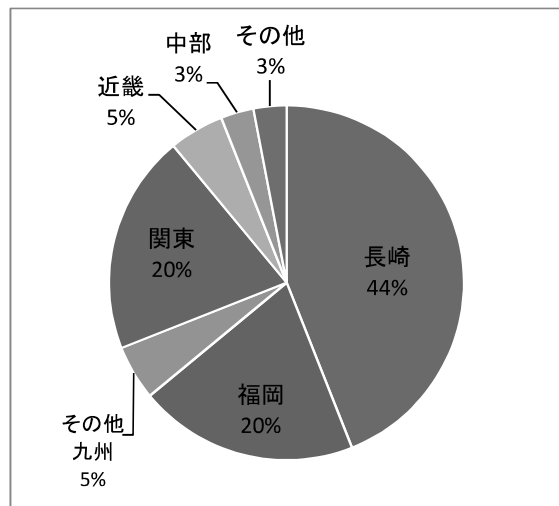
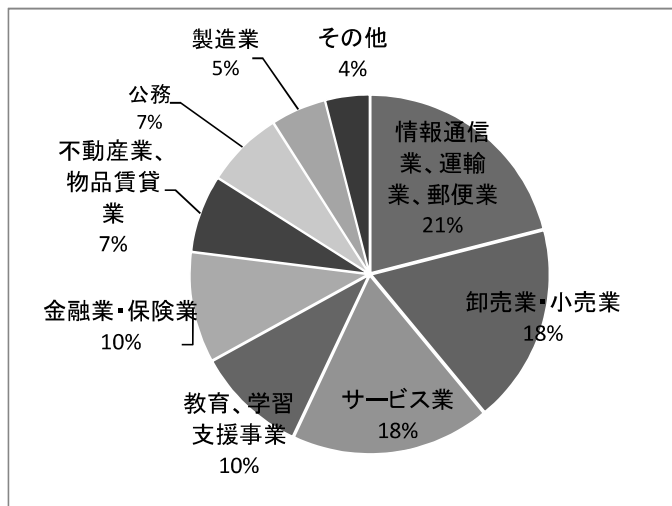
○経営学部



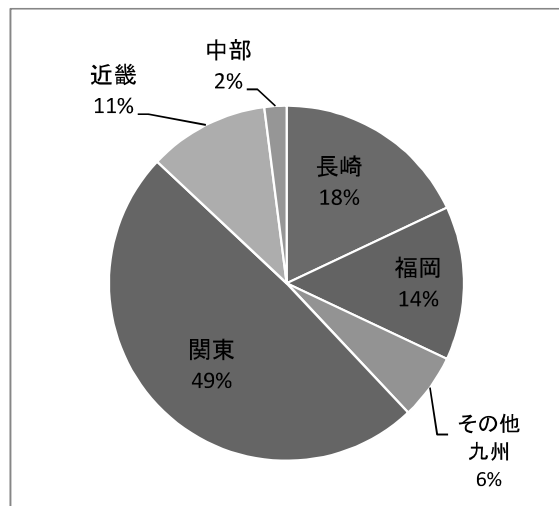
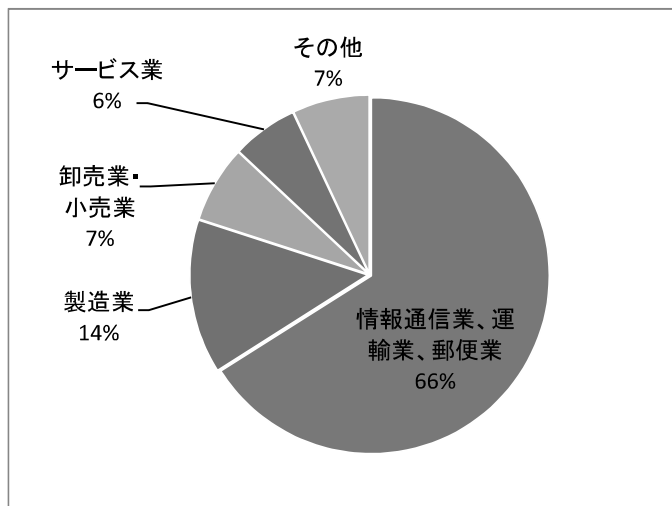
○地域創造学部



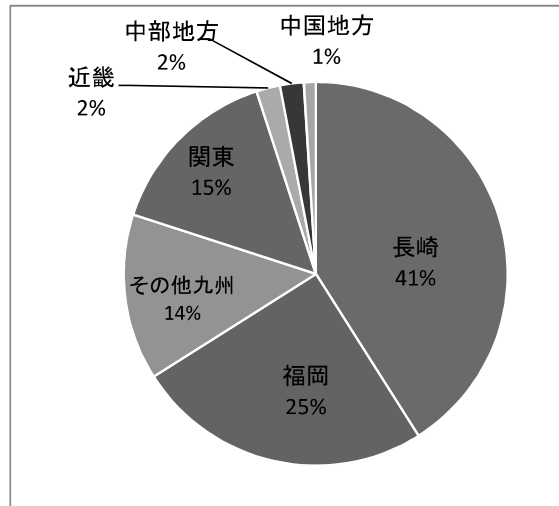
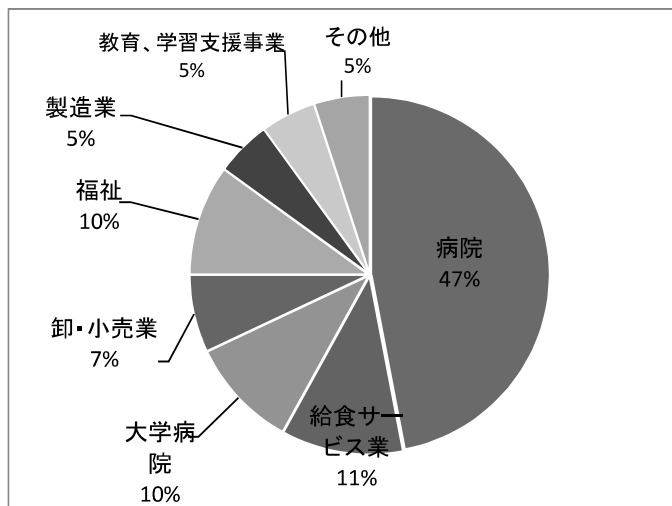
○国際社会学部



○情報システム学部



○看護栄養学部





はばたく学生に寄り添って 就活も充実のサポート!

2016年に学部学科の再編を行い、より専門的な分野を学ぶことができるようになった長崎県立大学。佐世保校(経営学部、地域創造学部)、シーボルト校(国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部)の各就職課が中心となり、学部ごとにきめ細かな就職情報を提供。全ての学生の就職活動を包括的にサポートします。

就職課と教員が連携して支援

シーボルト校 就職課 課長 前田 士 氏

シーボルト校は専門的な学科が集まっているため、就職活動のスケジュールも学生によって大きく異なります。そうした背景から、常に学生の進路に合わせた情報提供や、教員と連携した個別支援を重視しています。大学主催の就活イベントでは、大勢に向けたものだけでなく、特定の業種に絞ったものも開催。例えば、IT企業による合同オンラインセミナーや看護学科生向けのWeb合同病院セミナーなど、様々な特化したイベントを行います。

また、12月末までに3年生の求職内容を確認し、今後の就職活動を把握するための記録簿をゼミ毎に準備し、担当教員と就職課で適宜やり取りを行います。就職課が窓口となり就職情報を集め、それを共有することで、教員の側からもアドバイスや指導を行います。学生たちは自己分析や就職活動を進める中で、希望する進路が変わったり、うまくいかなかったりすることもあるかと思いますが、そうした場合にも、記録簿のやり取りを通して就職活動の様子や人間性を把握している教員が、丁寧にサポートしています。そして就職活動は、早めの行動が大切です。自分の興味がある業界の動きを日頃から把握した上で、積極的に情報収集していくことが重要です。就職課も全力でサポートします。

10月-11月	12月-1月	2月	3月
・学内業界セミナー(2月末まで) ・筆記試験対策講座 ・エントリーシート対策	・OB・OG座談会 ・面接対策演習 ・進路志望調査	・個別エントリーシート添削 ・個別面接練習 ・学外イベントへのバス支援	・求人情報公開 ・学内企業説明会開催 ・学外合同企業説明会へのバス支援

全ての学生を丁寧に支援

学生が必要とする情報を適切な時期に提供する。就職課が中心となり、学部ごとにきめ細かな就職情報を提供。全ての学生の就職活動を包括的にサポートします。

実践セミナーです。就職方針や進路に関する基本的な知識を身につけます。就職活動の進め方やマナー講座、インターンシップの説明など、テーマごとに分けて、3年次の4月から行っている主な就職支援の一つが、3年次の4月から行っている主な就職支援の一つが、3年次の4月から行っている...

田口 利通 氏

開催する就職ガイダンスと実践セミナーです。就職方針や進路に関する基本的な知識を身につけます。就職活動の進め方やマナー講座、インターンシップの説明など、テーマごとに分けて、3年次の4月から行っている...

情報システム学部 情報セキュリティ学科 4年 井上 陽太さん

【出身校】兵庫県立須磨東高校
【内定先】ユニテックス(株)【エントリー数】5社

Q1.ご自身の就職活動と、その中で印象的な出来事は?
インターンシップでいろいろな企業を体験して、自分のスキルを生かせること、そして人あたりの良さや企業を深く決めた手になりました。また面接では、情報セキュリティ分野を学んでいると話す、企業からも注目されて他にはないアピールになっていると感じました。

Q2.大学の相談・支援体制で役に立った部分は?
最初就職活動に対する不安感がありましたが、就職ガイダンスやセミナーに参加することで理解が深まり、その後の自己分析に役立ちました。またゼミの先生と時間があれば面接練習やエントリーシートの添削をお願いして、直前までサポートしていただきました。

Q3.後輩へのアドバイスは?
就職活動では、躊躇することなく周囲の頼る人に頼った方がよいと思います。僕自身、苦手な面接対策を相談するのが遅くなり、後々苦労しました。ゼミの先生や就職課、そして周りの友人や先輩など、助けしてくれる人は身近にいるので、迷わず相談してみてください。

情報システム学部 情報セキュリティ学科 4年 廣瀬 友菜さん

【出身校】島原高校
【内定先】NBC情報システム(株)【エントリー数】4社

Q1.ご自身の就職活動と、その中で印象的な出来事は?
場所を問わず企業情報を調べていましたが、もし県外に就職してもいいかなと長崎に戻って来たいと考えていました。そんな中で地元企業のインターンシップに参加して、働いている社員の方の雰囲気や仕事内容を詳しく知ることができて、進路の決め手となりました。

Q2.大学の相談・支援体制で役に立った部分は?
エントリーシートを書き始めた頃は就職課の方に何度も添削をお願いしていました。またゼミがあるたびに先生が就活の状況を気にかけてくださり、進考が進むことに細かく対策をアドバイスしていただきました。マンツーマンで教えてもらって感謝しています。

Q3.後輩へのアドバイスは?
今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、説明会や面接のオンライン化が急速に進みました。一部の就活イベントも中止や延期となってしまうかもしれませんが、少しでも必要な情報を届けられるように必要十分な情報提供を心がけています。

大まかな流れ	(2019)	(2020)
	4月～ 就職ガイダンス・セミナー	1月 エントリーシート・面接対策を本格的に開始
	8月 インターンシップ	10月 学内業界セミナー
	12月 インターンシップ	4月 選考開始

大まかな流れ	(2019)	(2020)
	4月～ 就職ガイダンス・セミナー	2月 インターンシップ
	8月 インターンシップ	3月 エントリーシート提出
	12月 県内業界セミナー	4月 選考開始

企業目線から就活をアドバイス

情報システム学部 情報セキュリティ学科 学科長 松崎 なつみ 教授

2016年4月から始動した情報システム学部には、民間企業での経験が豊富な教員がそろっています。私自身、以前は企業でセキュリティ分野に携わりながら、現場の技術担当者として採用面接をした経験があります。こうした経験を学生の就職活動にも役立てようとして、積極的に就職課と連携して情報を共有しています。情報分野とセキュリティ分野のスキルは、IT系の企業はもちろん異業種や公務員としても活かすことが可能で、多種多様な分野から高いニーズがあります。将来の選択肢は数多くありますが、大切なのは学生自身が決めることです。そして、そのためには、まずは広く情報を得ることが必要です。教員や就職課からもヒントとなる情報をタイムリーに提供することで、学生の進路決定をサポートします。また自分のアピールポイントが分からない学生に対しては、丁寧に話を重ねて魅力を引き出し、エントリーシートや面接の指導も必要に応じて実施。一人一人の目指す進路や得意不得意に合わせて継続的にアドバイスします。仕事選びは、人生の一大イベント。学生にはこうしたサポートをうまく活用して、主体的に道を切り拓いてほしいと思います。

オンライン化にも 素早く対応して きめ細かなケアを

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、説明会や面接のオンライン化が急速に進みました。一部の就活イベントも中止や延期となってしまうかもしれませんが、少しでも必要な情報を届けられるように必要十分な情報提供を心がけています。

オンライン化にも素早く対応してきめ細かなケアを。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、説明会や面接のオンライン化が急速に進みました。一部の就活イベントも中止や延期となってしまうかもしれませんが、少しでも必要な情報を届けられるように必要十分な情報提供を心がけています。

情報セキュリティ学科は、令和3年度入学者から定員倍増!(40人→80人)

社会が求める“情報セキュリティのプロ”への道がより大きく開かれます。

令和元年度 就職実績

幅広い業種で情報セキュリティの専門家として活躍しています。

■有限責任者監査法人	■株式会社ニシエーティブ	■NRIデータテック株式会社
■京セラコミュニケーションシステム株式会社	■住友電業株式会社	■ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
■日本電気株式会社	■株式会社ニシエーティブ	■富士通ソリューションサイエンスラボラトリー株式会社
■株式会社ニシエーティブ	■株式会社ニシエーティブ	■総務省 九州総合通信局
■株式会社ニシエーティブ	■株式会社ニシエーティブ	■長崎市役所

令和2年5月30日（土） 長崎新聞

オンラインで企業説明会

新型コロナ受け 県立大が初企画

県立大は27日、新型コロナウイルス感染拡大の影響で採用・就職活動が制限されている企業と学生を支援しようと、オンライン合同企業説明会を開いた。県内企業など4社と同大4年生18人が参加した。

学内で予定していた合同企業説明会の代替策として初めて企画。九州の小企業の採用活動を支援しているクラウドテック・グ・パートナーズ(福岡市)の長崎支社が共催した。同社によると、地場企業は都市部の企業に比べ採用活動のオンライン化が遅れており、「採用行程の見直しが必要だが、何から始めればいいのか」と不安の音が寄せられているという。

オンライン説明会はテレビ会議アプリ「ZOOM」を利用し、医療機器商社アイトーアイ、オックス生薬保険、長崎ビジネスセンター、親和銀行、十八銀行

活動制限の学生支援

医薬品卸売業東七が参加。各社が15分ずつ企業概要や採用の流れなどを説明し、学生は自宅から聴講した。

司会を務めたクラウドテック・パートナーズの担当者はオンライン面接の注意点について、事前にパソコンのカメラやマイク、通信環境を確認することなどポイントを指導。「面接の際は目線をカメラに向け、普段の1.3倍くらいの声量で話し、身ぶり、手ぶりを使って表情も伝えよう」などとアドバイスした。

音声は途切れるトラブルもあったが、「改善して企業の魅力を伝えていきたい」と担当者。県立大の担当者は「県外の企業から参加した学生もいて交通費をかける県内企業を知るきっかけになった。今後は対面の説明会にオンラインを組み合わせたなど工夫をしていきたい」と語った。

(田中祐作)



オンライン合同企業説明会の画面(手前)と司会を務めるクラウドテック・グ・パートナーズの担当者
長崎市万才町 同社

学科・学部別 県内就職状況

	令和2年度				平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率	対前年比	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率
経営学部	167	38	22.8%	0.6%	158	35	22.2%						
経営学科	122	29	23.8%	-4.0%	119	33	27.7%						
国際経営学科	45	9	20.0%	14.9%	39	2	5.1%						
地域創造学部	219	67	30.6%	1.7%	208	60	28.8%						
公共政策学科	106	31	29.2%	1.4%	97	27	27.8%						
実践経済学科	113	36	31.9%	2.1%	111	33	29.7%						
国際社会学部													
国際社会学科	61	27	44.3%	19.8%	45	11	24.4%						
情報システム学部	71	13	18.3%	-7.5%	62	16	25.8%						
情報システム学科	40	11	27.5%	14.2%	30	4	13.3%						
情報セキュリティ学科	31	2	6.5%	-31.0%	32	12	37.5%						
看護栄養学部	94	39	41.5%	1.1%	94	38	40.4%	86	33	38.4%	91	48	52.7%
看護学科	54	24	44.4%	-1.5%	61	28	45.9%	49	25	51.0%	54	37	68.5%
栄養健康学科	40	15	37.5%	7.2%	33	10	30.3%	37	8	21.6%	37	11	29.7%
経済学部	8	1	12.5%		31	11	35.5%	388	131	33.8%	374	104	27.8%
経済学科	3	1	33.3%		12	7	58.3%	137	46	33.6%	134	31	23.1%
地域政策学科	2	0	0.0%		6	0	0.0%	129	48	37.2%	120	39	32.5%
流通・経営学科	3	0	0.0%		13	4	30.8%	122	37	30.3%	120	34	28.3%
国際情報学部	2	0	0.0%		7	3	42.9%	133	45	33.8%	130	54	41.5%
国際交流学科	2	0	0.0%		7	3	42.9%	73	18	24.7%	70	33	47.1%
情報メディア学科								60	27	45.0%	60	21	35.0%
大学総計	622	185	29.7%	1.0%	605	174	28.8%	607	209	34.4%	595	206	34.6%

※国際情報学部情報メディア学科について、平成31年に学科廃止の届出を行ったため、平成31年度以降の実績なし。
 ※経済学部、国際情報学部について、4年間以上在籍した学生に係る就職実績のため、前年比の記載なし。

国際交流協定校一覧

	大学名		協定締結日	協定事業内容					
				学生交流 派遣・受入人数 期間	教職員 交流	共同 研究	シンポジウム等	刊行物等 の 交換	
1	華僑大学	中国	1992年10月7日 (平成4年)	○ [計4名 規定なし]	○	○	○ [年1回 交互に 開催]	○	
☆	2	ウィスコンシン大学オシュコシュ校	アメリカ	2001年9月28日 (平成13年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○		
3	上海外国語大学	中国	2002年10月17日 (平成14年)	○ [各3名 半年又は1年]	○	○			
	上海外国語大学短期留学生プログラム協定		2011年6月30日 (平成23年)	○ [受入5名 派遣短期研修10名]					
4	東亜大学校	韓国	2004年4月1日 (平成16年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○	○	○	
5	高麗大学校	韓国	2004年12月2日 (平成16年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○	○	○	
	看護大学校		2006年2月9日 (平成18年)	○ [定期的な相互交流]					
☆	6	マカオ 澳門大学 社会人文学部	中国	2009年5月20日 (平成21年)	○ [計1~3名 規定なし]	個別に 協議			
7	西安外国語大学	中国	2011年3月1日 (平成23年)	○ [各2名 1年以内]	○				
☆	タマサート大学	タイ	2012年10月30日 (平成24年)	○ [学部の規定による]	○	○	○	○	
	ジャーナリズム・マスコミュニケーション学部		2013年3月18日 (平成25年)	○ [各5名 1年以内]					
	看護学部		2014年3月24日 (平成26年)	○					
9	湖北大学	中国	2013年3月1日 (平成25年)	○ [各5名 1年以内]		○		○	
☆	10	エドモンズコミュニティカレッジ	アメリカ	2013年12月14日 (平成25年)	○ [各2名 半年]	○	○	○	
☆	11	ダナン大学(大学間交流協定)	ベトナム	2014年11月25日 (平成26年)	○ [別途覚書を締結]	○	○	○	○
	(学生交流に関する覚書)	2016年3月30日 (平成28年)		○ [各2名 1年以内]					
☆	12	フラットヘッドバリーコミュニティカレッジ	アメリカ	2019年1月10日 (平成31年)	○ [各2名 半年]	○	○		
☆	13	泰日工業大学	タイ	2020年3月27日 (令和2年)	○ [各5名 1年以内]	○			

※東亜大学・華僑大学と2011年締結した協定については6年毎に更新。それ以外の協定は5年毎に更新。

☆英語で留学可能な交流協定締結校

留学生の状況(令和2年度在籍者数実績)

○外国人留学生の受入状況(前年度以前からの継続者+令和2年度新規受入)

☆数値については、学生の国籍により計上

区分	佐世保校					シーボルト校							合計	
	中国	韓国	ベトナム	台湾	計	中国	韓国	米国	ベトナム	タイ	サウジ	計		
学部	交換留学生	1				1	5						5	6
	私費留学生	1		7	1	9	1			1			2	11
	計	2	0	7	1	10	6	0	0	1	0	0	7	17
大学院	交換留学生					0							0	0
	私費留学生	2				2	2				1		3	5
	計	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	2	4
研究生	学部					0	2						2	2
	大学院					0							0	0
	計	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2
合計	交換留学生	1				1	5			0			5	6
	私費留学生	3		7	1	11	3			1			4	15
	研究生(国費)	0				0	2						2	2
	計	4	0	7	1	12	10	0	0	1	0	0	11	23

国別状況	中国	ベトナム	韓国	米国	台湾	タイ	サウジ(その他)	合計
(人)	14	8	0	0	1	0	0	23
(%)	60.9%	34.8%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%

※短期私費は協定に基づく受入れの為、交換に含む

※上記の他、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度継続予定だった交換留学生4名(中国:1名、米国:3名)が平成31年度中に途中帰国。

○交換留学 派遣状況(平成31年度からの継続者)

区分	佐世保校					シーボルト校					合計
	中国	韓国	米国	台湾他	計	中国	韓国	米国	タイ	計	
学部					0			1		1	1
大学院					0					0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1

※上記の他、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度継続予定だった4名(中国:3名、韓国:1名)が平成31年度中に途中帰国。

また、令和2年度の新規派遣は無し。

○英語で留学可能な協定締結校からの受入、派遣学生数

年度	H29	H30	H31	R2
受入	9	7	9	0
派遣	6	7	8	1

入学志願者及び入学者数

年度別総計【学部】[令和3年度]

(単位：人、倍)

区 分		定 員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	受験倍率	競争率	
		A	B	C	D		B/A	C/A	C/D	
経営学部	経営学科	総合型選抜	10	3	3	1	1	0.3	0.3	3.0
		学校推薦型選抜	45	69	69	49	49	1.5	1.5	1.4
		一般選抜(前期)	70	288	276	105	65	4.1	3.9	2.6
		一般選抜(後期)	15	321	97	51	35	21.4	6.5	1.9
		一般選抜計	85	609	373	156	100	7.2	4.4	2.4
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
		留学生	若干名	2	2	2	1	-	-	1.0
	小 計	140	684	448	209	152	4.9	3.2	2.1	
	国際経営学科	学校推薦型選抜	20	13	13	11	11	0.7	0.7	1.2
		一般選抜(前期)	30	99	89	42	27	3.3	3.0	2.1
		一般選抜(後期)	10	106	25	17	13	10.6	2.5	1.5
		一般選抜計	40	205	114	59	40	5.1	2.9	1.9
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	60	218	127	70	51	3.6	2.1	1.8	
学 部 計		200	902	575	279	203	4.5	2.9	2.1	
地域創造学部	公共政策学科	学校推薦型選抜	30	40	40	28	28	1.3	1.3	1.4
		一般選抜(前期)	60	240	207	75	59	4.0	3.5	2.8
		一般選抜(後期)	30	336	84	49	36	11.2	2.8	1.7
		一般選抜計	90	576	291	124	95	6.4	3.2	2.3
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	120	616	331	152	123	5.1	2.8	2.2	
	実践経済学科	学校推薦型選抜	45	73	72	45	45	1.6	1.6	1.6
		一般選抜(前期)	65	134	127	86	66	2.1	2.0	1.5
		一般選抜(後期)	20	135	37	28	23	6.8	1.9	1.3
		一般選抜計	85	269	164	114	89	3.2	1.9	1.4
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	130	342	236	159	134	2.6	1.8	1.5	
	学 部 計		250	958	567	311	257	3.8	2.3	1.8
国際社会学部	国際社会学科	総合型選抜	5	11	11	7	7	2.2	2.2	1.6
		学校推薦型選抜	19	32	32	21	21	1.7	1.7	1.5
		一般選抜(前期)	30	56	53	37	31	1.9	1.8	1.4
		一般選抜(後期)	6	109	23	6	2	18.2	3.8	3.8
		一般選抜計	36	165	76	43	33	4.6	2.1	1.8
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
小 計	60	208	119	71	61	3.5	2.0	1.7		
情報システム学部	情報システム学科	学校推薦型選抜	12	34	34	14	14	2.8	2.8	2.4
		一般選抜(前期)	20	78	74	23	18	3.9	3.7	3.2
		一般選抜(後期)	8	143	50	11	10	17.9	6.3	4.5
		一般選抜計	28	221	124	34	28	7.9	4.4	3.6
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	1	1	0	0	-	-	-
	小 計	40	256	159	48	42	6.4	4.0	3.3	
	情報セキュリティ学科	学校推薦型選抜	20	25	25	20	20	1.3	1.3	1.3
		一般選抜(前期)	40	86	84	42	39	2.2	2.1	2.0
		一般選抜(後期)	20	233	81	33	25	11.7	4.1	2.5
		一般選抜計	60	319	165	75	64	5.3	2.8	2.2
		帰国子女	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
社会人		若干名	0	0	0	0	-	-	-	
留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-		
小 計	80	345	191	96	85	4.3	2.4	2.0		
学 部 計		120	601	350	144	127	5.0	2.9	2.4	

区 分		定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者	志願倍率 B/A	受験倍率 C/A	競争率 C/D	
看護 栄養 養学部	看護学科	学校推薦型選抜	16	52	52	15	15	3.3	3.3	3.5
		一般選抜(前期)	38	104	97	42	38	2.7	2.6	2.3
		一般選抜(後期)	6	116	30	11	10	19.3	5.0	2.7
		一般選抜計	44	220	127	53	48	5.0	2.9	2.4
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	2	2	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	1	1	0	0	-	-	-
	小計	60	275	182	68	63	4.6	3.0	2.7	
	栄養健康学科	学校推薦型選抜	10	22	22	10	10	2.2	2.2	2.2
		一般選抜(前期)	24	68	64	27	22	2.8	2.7	2.4
		一般選抜(後期)	6	121	42	11	8	20.2	7.0	3.8
		一般選抜計	30	189	106	38	30	6.3	3.5	2.8
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
留学生		若干名	0	0	0	0	-	-	-	
小計	40	212	129	49	41	5.3	3.2	2.6		
学部計		100	487	311	117	104	4.9	3.1	2.7	
総合型選抜計		15	14	14	8	8	0.9	0.9	1.8	
学校推薦型計		217	360	359	213	213	1.7	1.7	1.7	
一般選抜(前期)計		377	1,153	1,071	479	365	3.1	2.8	2.2	
一般選抜(後期)計		121	1,620	469	217	162	13.4	3.9	2.2	
一般選抜合計		498	2,773	1,540	696	527	5.6	3.1	2.2	
帰国子女計		若干名	1	1	1	1	-	-	1.0	
社会人計		若干名	4	4	2	2	-	-	2.0	
留学生計		若干名	4	4	2	1	-	-	2.0	
合計		730	3,156	1,922	922	752	4.3	2.6	2.1	

※総合型選抜の受験者数は2次選考受験者数

※令和3年度入学者選抜から情報システム学部情報セキュリティ学科の募集定員を下記のとおり変更。

学校推薦型選抜	旧) 12名 → 新) 20名
一般選抜(前期)	20名 → 40名
一般選抜(後期)	8名 → 20名
計	40名 → 80名

年度別総計【大学院】[令和3年度]

(単位：人、倍)

区 分		定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者	志願倍率 B/A	受験倍率 C/A	競争率 C/D	
地域 創生 研究科	地域社会マネジメント専攻 (修士課程)	一般選抜	15	3	3	3	2	/		
		推薦入試		4	4	4	4			
		社会人特別選抜		15	15	15	15			
		外国人留学生特別選抜		3	3	3	3			
		小計		15	25	25	25			
	情報工学専攻(修士課程)	一般選抜	10	4	3	3	3	/		
		推薦入試		2	2	2	2			
		社会人特別選抜		1	1	1	1			
		外国人留学生特別選抜		1	1	1	1			
		小計		10	8	7	7			
	人間健康科学専攻(修士課程)	一般選抜	12	11	11	4	0	/		
		推薦入試		4	4	3	3			
		社会人特別選抜		2	2	2	2			
		外国人留学生特別選抜		0	0	0	0			
		小計		12	17	17	9			
研究科計		37	50	49	41	36	1.4	1.3	1.2	
人間 健康 科学 研究科	栄養科学専攻(博士後期課程)	一般選抜	3	0	0	0	0	-	-	-
		外国人留学生特別選抜	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	研究科計		3	0	0	0	0	-	-	-
大学院計		40	50	49	41	36	1.3	1.2	1.2	

※令和2年10月入学志願者を含む

長崎県立大学国際社会学部 国際社会学科 一日大学生募集

開催期間: 2020年10月1日(木)～30日(金)

対象: 高校1年生～3年生

形式: オンライン講座(ウェブ開催)

以下のオンライン講義を視聴して、本学HPフォームまたはメールで課題を提出すると担当教員が内容添削し、コメントを付けて個別に返信を送ります。一足先に大学の教員から個人指導を受けて、大学生を体験してみませんか。

<A> 映像メディアの可能性と危うさ 井上佳子 教授

私たちに身近なテレビは、その庶民性により、大きな可能性がある一方で、その影響力ゆえに、危険性もはらんでいます。私たちは映像メディアとどう付き合えばいいのでしょうか。一緒に考えてみよう。

ジャシ

 ポストコロナのSDGs 賈曦 准教授

コロナ時代に生きる私たちは、SDGsという未来を変える目標に向かってどのように理解し、自分ごとにする事ができるのか。将来を見据え、今の課題を考えましょう。

<C> Cultural Commodification 唐津理恵 教授

We will learn about cultural commodification, using examples from movies.

申込み/問合せ先



長崎県立大学シーボルト校 総務企画課

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1

TEL:095-813-5500 FAX:095-813-5220 E-mail: GMSeminar@sun.ac.jp

- ・本学ホームページのフォームまたはメールにてお申し込みください。
- ・申し込み時に受講したい講座番号をお知らせください。
- ・複数講座への参加、ひとつのみの参加、いずれも可能です。

(本学ホームページへのQRコード↑)



自治体との連携協定締結

長崎市と包括連携に関する協定を締結しました

カテゴリ：お知らせ 2020-06-08

令和2年5月28日（木）、長崎市役所において長崎市と本学との包括連携協定締結式を行いました。この協定は、長崎市と本学が相互の資源を活用した連携を推進することで、学術研究機能の向上、地域社会の発展及び人材の育成に寄与することを目的としています。

締結式では、長崎市田上富久市長と本学木村務学長が協定書に署名を行いました。

その後の挨拶で田上市長は、「これまでも様々な分野で県立大学とは連携してきたが、本協定を縁に、さらに地域やまちの発展に貢献できればと思う。また、一学生び続ける生涯学習の場としても活用できれば」と今後の抱負を述べられました。

また、木村務学長は「今後大学の資源を活用いただき、地域産業に寄与することで、新しい社会づくりに貢献したい。」と述べました。



協定書への署名



署名後の記念撮影

左:田上富久市長/右:木村務学長

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスク着用で協定式を行いました。

長崎市と地域活性化・地域課題解決に関する連携協定を締結しました

カテゴリ：お知らせ 2020-10-30

令和2年10月28日（水）、長崎市において、自治体、大学、金融機関など産学官金連携のもと地域課題の解決と地域の活性化につながる取組みを推進するため、長崎市、長崎大学、長崎県立大学、西日本電信電話株式会社長崎支店、NTTアーバンソリューションズ株式会社、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ及び株式会社十八親和銀行の7者により、長崎市における地域活性化・地域課題解決に関する連携協定を締結しました。

今後は、SDGsの推進（持続可能な社会の実現）をふまえ、地域が抱える課題をもとに具体的な検討をすすめていきます。



署名後の記念撮影

波佐見町と包括連携に関する協定を締結しました

カテゴリ：お知らせ 2020-08-11

令和2年8月5日（水）、波佐見町役場において波佐見町と本学との包括連携協定締結式を行いました。この協定は、波佐見町と本学が相互の資源を活用した連携を推進することで、学術研究機能の向上、地域社会の発展及び人材の育成に寄与することを目的とします。

締結式では、波佐見町一瀬政太町長と本学木村務学長が協定書に署名を行いました。

その後の挨拶で一瀬町長は、「長崎県立大学が有している専門分野の高度な知識と経験に基づく助言を得て、様々な連携事業を推進し、本町の発展と将来を担う人材の育成につながるものと考えている。」と述べられました。

また、木村務学長は「相互の資源を活用した連携を深めて、本学の人材育成と学術研究により、波佐見町の発展に貢献したい。」と述べました。



協定書への署名



署名後の記念撮影

左：一瀬政太町長／右：木村務学長

具体的な協力内容は以下のとおりです。

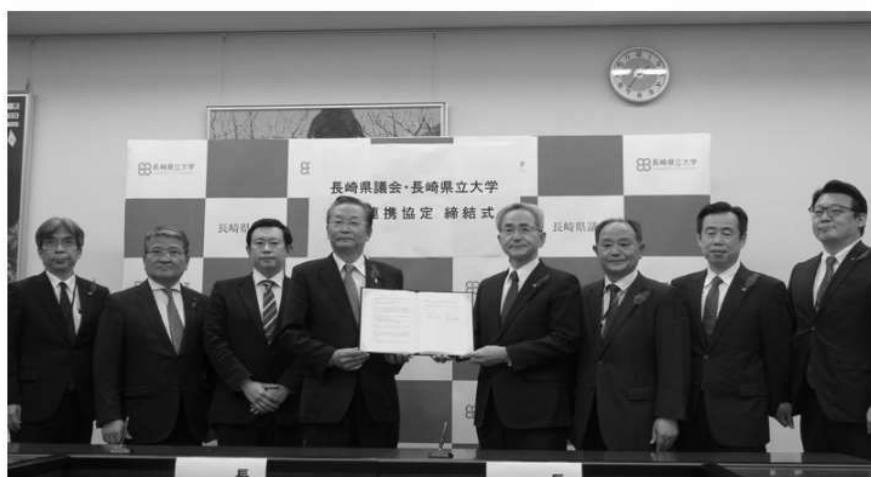
- (1) 共同研究、受託研究に関すること
- (2) 地域貢献の取組みに関すること
- (3) 人材育成に関すること
- (4) その他本協定の目的を達成するために必要な事項

長崎県議会と包括連携協定を締結しました

カテゴリ:お知らせ 2021-03-29

長崎県議会と本学が包括的な連携のもと、相互に協力し、様々な地域課題に的確に対応するとともに、魅力ある地域づくりや地域における高度な識見を有する人材の育成に資することで、若い世代の皆様が県議会の役割に関心を持ち、政治を身近に感じてもらうこと等を目的とした包括連携協定を締結しました。

都道府県議会と大学が連携協定を締結するのは、九州で初めての事例であり、全国でも7例目の取り組みとなります。



令和3年3月23日(火)に行われた締結式では、瀬川県議会議長のほか、松本副議長、外間議会運営委員長、松尾県議会事務局長が同席され、本学からは、木村学長のほか、百岳専務理事、網地域創造学部長、車公共政策学科長が同席しました。



御挨拶される瀬川議長



挨拶を述べる木村学長

協定書に署名の後、瀬川議長は、「県民のニーズや地域課題が多様化・複雑化する中、その多様な意見を反映しながら合意形成を行う場である県議会には、これまで以上にその役割を果たすことが求められているが、現状としては、投票率の低下や議員のなり手不足が深刻となっている。こうした状況を踏まえ、県民の負託と信頼に応え、地域の声を把握し、県政の発展に取り組むため、まずは、多様な年代の皆様が県議会の役割に関心を持ち、政治を身近に感じてもらうための仕組みづくりが必要と考えていた。この協定締結を契機に、地域の多様な声を把握し、意思決定に生かすことや、県立大学が有している知的資源を生かし、各議員の政策立案能力の強化などに寄与することを期待している。」と述べられました。

これに対し、木村学長は、「県議会との連携協定の締結は大変栄誉なことであり、今後は、本学において県議会議長にご講演をいただいたり、本学の学生をインターンとして受け入れていただくなど、具体的な取り組みを通じて、公共政策に必要な知識や課題解決能力の育成を図り、広い視野で地域の諸課題を解決できる能力の育成を目指したい。」との抱負を述べました。

協定に基づき、令和3年度から、本学における議長講演、県議会事務局でのインターンシップ、学生と議員との意見交換などが行われる予定です。

学長裁量教育研究費

【佐世保校】

(単位：件、千円)

H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
19	9,096	17	7,727	16	6,012	16	6,797	19	6,934

[令和2年度の取り組み]

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研究課題	交付額 (千円)
	学科	氏名				
離島	公共政策	橋本 優花里	共同	3	分野を超えた教員の連携による長崎県立大学版サービス・ラーニングプログラムの確立 - 共生をテーマにした取り組み -	887
	公共政策	松尾 晋一	共同	3	グローバル歴史と対馬を素材とした教育教材・学習プログラムの開発	692
東アジア	国際経営	江崎 康弘	個人	1	地方中小企業の東アジアへの事業展開時の契約リスク対策に関する研究	715
	国際経営	山本 裕	個人	1	日米海運史の研究～外輪船からコンテナ船へ	452
	公共政策	川崎 修良	個人	3	日本・韓国・台湾における「景観」理念の都市法への受容についての研究	574
長崎の地域課題	経営	板垣 太郎	共同	2	観光資源としてのコンテンツツーリズムの可能性についてのアクションリサーチ型研究 - 旧軍港都市における取り組みに関する比較研究 -	549
	経営	田代 智治	個人	2	スタートアップ支援体制の国内外(日・台・欧)比較研究 - 長崎県創業促進にむけた提言 -	365
	国際経営	石田 和彦	個人	1	SSDSEを用いた地域経済分析、及びその教材化	167
	公共政策	山崎 祐一	個人	2	異文化理解を視野に入れた内容重視の英語教育 - 地域とリンクした取組を通して -	424
	公共政策	寺床 幸雄	個人	3	長崎の農山村における地域活動の実践的支援に向けた研究方法の構築と展開	394
	実践経済	竹田 英司	個人	3	地域産業のツーリズム化	493
	実践経済	芳賀 普隆	個人	3	長崎県の再生可能エネルギー普及・活用に伴う地域活性化に関する研究	234
	実践経済	魏 蜀楠	個人	2	佐世保市「地方型」MaaSの導入可能性に関する政策研究	235
挑戦的研究	経営	宮地 晃輔	個人	1	地域資源の有機的結合を基盤とした「社会人大学院生リカレント教育」に対する発展的仕組みの構築に関する基礎的研究 - 長崎県立大学大学院教育・研究現場での実践を想定して -	551
	公共政策	黒木 誉之	個人	2	市民自治・市民協働と地域ガバナンス	202
科研費獲得支援	経営	宮地 晃輔	-	-	-	-
	公共政策	川崎 修良	-	-	-	-
	実践経済	竹田 英司	-	-	-	-
	実践経済	魏 蜀楠	-	-	-	-
総 計						6,934

【シーボルト校】

(単位：件、千円)

H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
39	31,530	38	29,594	43	26,611	46	30,456	47	29,528

[令和2年度の取り組み]

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研究課題	交付額 (千円)
	学 科	氏 名				
離島	栄養健康	湯浅 正洋	共同	1	長崎県離島・宇久島の未利用資源を利用した魚醤の迅速調製とその嗜好性に関する研究	1,555
	看護	平田 直美	共同	3	島嶼部における指導利用者増加に向けた質問紙開発	426
長崎の地域課題	国際社会	小原 篤次	個人	2	長崎における若者の早期離職と雇用のミスマッチの実態調査	176
	国際社会	賈 曦	個人	1	地方創生に向けたSDGs促進における地方メディアの役割～SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に関する報道を事例に	256
	情報システム	辺見 一男	個人	1	音声コマンドを用いた口腔体操訓練支援システム用ユーザーインターフェースの開発	125
	情報システム	吉村 元秀	個人	2	「ヒト」、「コト」、「モノ」を連動する「マチ」づくりを通じた多能工人材の育成	415
	看護	立石 憲彦	個人	1	長崎県の高齢者施設における高齢者のセクシャルヘルス意識調査	98
	看護	大塚 一徳	個人	1	高齢者と若年者のワーキングメモリと記憶の自己効力感における多母集団同時分析による因子不変性の検討	891
	看護	林田 りか	個人	2	病棟看護師における医療安全認識と安全看護活動の重要性に関する研究	256
	看護	山口 多恵	個人	3	高齢者長期ケア施設における看護師のEBP (Evidence Based Practice) 実装モデルの開発	416
	看護	重富 勇	個人	2	精神障がい者ピアサポーターのレジリアンスを活かした地域包括ケアシステムの研究	206
	看護	安野 敦子	個人	2	終末期療養者を在宅で介護する就労家族介護者への支援と課題～訪問看護師の支援に焦点をあてて～	113
	看護	高崎 亜沙奈	個人	3	惨事ストレスを受けたクリティカルケア看護師に対する支援方法の構築(仮)	561
	栄養健康	大曲 勝久	個人	1	長崎県産オーリーブリーフパウダーの非アルコール性脂肪肝炎に対する効果の検討	912
	栄養健康	境田 靖子	個人	2	乳幼児健診を利用した母親の食生活と児の生育に関連する因子の検討	759
	栄養健康	石見 百江	個人	1	災害時における栄養・食生活と地域特性に合った効果的な働きかけについて	773
	栄養健康	稲垣 佳映	個人	1	食育プログラム実施における事前研修の教育効果の検討	224
	地域連携センター	田中 一成	個人	1	長崎県産農林水産物の機能性解明に関する研究	1,123
	看護	貞方 三枝子	個人	2	看護管理者の属性に応じた教育ニーズの検討	138
	国際社会	森田 均	共同	3	運輸・情報通信・エネルギーの統合型インフラモデルSTINGIによる高度交通システムの社会実装と実証実験から地域社会へ貢献する研究を目指す試み	810
	情報システム	平岡 透	共同	2	島原市におけるポーリングコアの画像解析と透水係数の推定	600
看護	堂下 陽子	共同	3	子育て中の精神障害をもつ親への地域包括ケアプログラムの構築	344	

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研 究 課 題	交付額 (千円)
	学 科	氏 名				
長崎の地域課題	栄養健康	古場 一哲	共同	1	長崎県産黒大豆の抗糖化作用に関する研究	1,517
	栄養健康	世羅 至子	共同	2	大島トマトの血糖上昇に関する研究	647
	栄養健康	松澤 哲宏	共同	3	長崎県産天然麹菌の創出と安全性に関する研究	974
	情報システム	飛谷 謙介	共同	2	深層学習による陶磁器の感性的質感評価モデルの構築	1,394
挑戦的	国際社会	井上 佳子	個人	2	農村青年と戦争一昭和初期における社会システムと農村青年の戦争に対する意識の考察一	110
	情報セキュリティ	小松 文子	個人	2	個人のセキュリティリスク認知に関する研究	667
	情報セキュリティ	穴田 啓晃	個人	1	量子計算機耐性を有する匿名属性証明システムの原理の解明及び設計	398
	看護	永峯 卓哉	個人	2	弾性ストッキングによる皮膚乾燥発生機序の検証と皮膚トラブル予防ケアの開発	515
	栄養健康	倉橋 拓也	個人	2	ガス状物質の酸化的捕集を目的とする水泡内化学反応の研究	840
	栄養健康	竹内 昌平	個人	1	新型コロナウイルス感染症が高齢者の買い物環境、買い物行動に与える影響について	873
	栄養健康	荒木 彩	個人	2	ゲル化剤使用による酸味低減効果の検証及び高酢酸含有食品の開発	1,218
	情報セキュリティ	岡田 雅之	個人	1	インターネット基盤の安定に関する研究	356
	栄養健康	柴崎 貢志	個人	1	神経細胞内の代謝・温度変化と神経活動	1,400
	看護	坂本 仁美	個人	2	看護における情報の非対称性回避のための情報倫理概念明確化と情報倫理行動評価尺度の開発	583
	情報システム	永野 哲也	共同	1	新公開鍵暗号のIND-CPA強度の研究	143
	情報セキュリティ	日下部 茂	共同	1	システムズエンジニアリングによるデジタルトランスフォーメーションの効果的導入法の分析	736
	看護	吉田 恵理子	共同	2	若年層の感染予防意識と行動に関するアクションリサーチ	535
	看護	竹口 和江	共同	1	子育て女性の在宅ワークにおけるPresenteeismの影響要因の検討	796
	栄養健康	飛奈 卓郎	共同	1	日常生活の心拍数の変化と体力レベル、グルコース変動の関係	1,335
	栄養健康	城内 文吾	共同	1	食事リン脂質による抗メタボリックシンドローム作用発現機構の解明 一時間的代謝変動の検出一	1,355
栄養健康	高江 理恵	共同	1	運動中や試合中の消化吸収に注目した栄養補給法の提案	1,457	
学長が掲げる目標	看護	三重野 愛子	共同	2	看護技術初学者における技術修得へ影響を与える要因の解明-段階ごとの技術修得度と手指の巧緻性、作業に対する自信の程度、認知負荷との関連に焦点を当てて-	502
科研費獲得支援部門	栄養健康	古場 一哲	-	-	-	-
	看護	竹口 和江	-	-	-	-
	国際社会	賈 曦	-	-	-	-
総 計						29,528

研究論文数・学会発表数(第3期中期計画期間中)

	欧文学術誌発表論文			
	H29	H30	H31	R2
経営学部	1	1	2	2
地域創造学部	5	3	3	7
国際社会学部	5	4	6	3
情報システム学部	15	26	22	25
看護栄養学部	15	24	21	23
地域連携センター	—	—	—	3
年度計	41	58	54	63

	邦文学術誌発表論文			
	H29	H30	H31	R2
経営学部	16	17	14	20
地域創造学部	11	7	16	29
国際社会学部	18	12	25	33
情報システム学部	15	12	10	19
看護栄養学部	11	15	18	23
地域連携センター	—	—	—	1
年度計	71	63	83	125

	国際学会発表			
	H29	H30	H31	R2
経営学部	5	4	4	2
地域創造学部	11	11	6	8
国際社会学部	9	8	11	5
情報システム学部	20	20	15	18
看護栄養学部	35	20	17	7
地域連携センター	—	—	—	0
年度計	80	63	53	40

	全国学会発表			
	H29	H30	H31	R2
経営学部	17	14	20	16
地域創造学部	23	21	17	12
国際社会学部	16	5	7	9
情報システム学部	42	54	36	50
看護栄養学部	89	92	98	79
地域連携センター	—	—	—	5
年度計	187	186	178	171

	著書数			
	H29	H30	H31	R2
経営学部	3	8	14	10
地域創造学部	9	5	13	14
国際社会学部	7	14	9	5
情報システム学部	2	0	4	1
看護栄養学部	7	0	13	10
地域連携センター	—	—	—	0
年度計	28	27	53	40

オンラインによる公開講座

令和2年度公開講座

今年度の公開講座は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、ご自宅から受講できる遠隔講座で実施いたします。是非ご参加ください。

低金利時代に活用したい資産運用手法 - NISA (ニーサ) やiDeCo (イデコ) はどのような仕組みなのか -

地域創造学部 実践経済学科 准教授 壁谷 順之

2016年2月から始まったマイナス金利政策は、私たちの日常生活に様々な形で影響を及ぼしている。また、2019年6月には金融庁のいわゆる「老後資金2000万円問題」が表面化し、世間を騒然とさせたことも私たちの記憶に新しい。現在、長期化している低金利時代において、私たちはどのように資産設計を考えていくのか。その一翼を担うのが、近年認知度の高まっている「NISA (ニーサ)」や「iDeCo (イデコ)」等である。難しい税制や年金論なども交えながら、皆さんと一緒に投資への第一歩を考えていきましょう。

長崎県立大学 公開講座：低金利時代に活用したい資産運用手法

後で見る
 共有

② 昨今の経済環境 (4)

<図表5>

日経平均株価推移 (2000～2020年)

<図表6>

ドル/円レート推移 (2000～2020年)

出典) Yahoo!ファイナンス社のスクリーンサービスより

➡ 日経平均株価は、アベノミクス効果により年々上昇。

➡ 為替レートは、近年は1\$ = 110円近辺の推移で安定。

長崎県立大学

UNIVERSITY OF NAGASAKI

オンライン公開講座

講師 壁谷 順之 (地域創造学部実践経済学科 准教授)

テーマ 低金利時代に活用したい資産運用手法 - NISA (ニーサ) やiDeCo (イデコ) はどのような仕組みなのか -

見る
YouTube

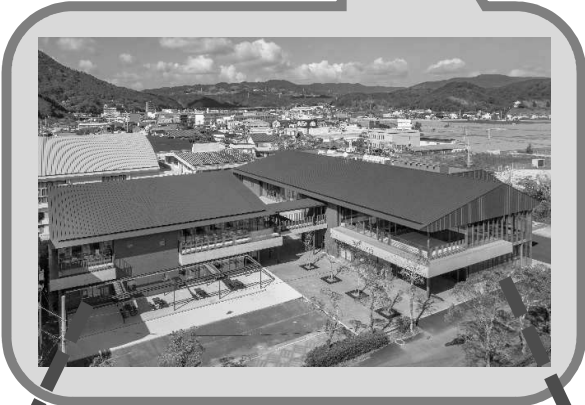
クリックすると講座が視聴できます。

佐世保校校舎等建替え

▼食堂棟及び管理棟完成



(令和3年3月撮影)



▲食堂棟



▲管理棟

教員の年齢・性別構成

令和2年5月1日現在

		教授	准教授	講師	助教	特任教員	合計
29歳以下	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	1	0	0	1
30～39歳	男性	0	5	7	1	1	14
	女性	0	0	3	3	0	6
40～49歳	男性	8	14	6	0	3	31
	女性	2	3	8	2	0	15
50～59歳	男性	20	9	1	0	1	31
	女性	6	5	2	1	1	15
60～69歳	男性	22	3	0	0	8	33
	女性	7	0	0	0	1	8
70～79歳	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0
男性計		50	31	14	1	13	109
女性計		15	8	14	6	2	45
合計		65	39	28	7	15	154



木村学長 × 学生オンライン座談会

「県立大」ってどんな大学?

2016年の学部・学科再編で5学部9学科体制となった長崎県立大学。離島研修やインターンシップなど、より実践的なカリキュラムを通じて、地域や世界で活躍を目指す学生たちが学びを深めています。今回、木村学長と各学部の学生5人が、大学の疑問や学生生活について意見交換する座談会を実施。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによるリモート形式で行いました。

(企画・制作 長崎新聞社メディアビジネス局クロスメディア編集部)



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、モニターを使って学生たちと対話する木村学長＝2020年5月15日、県立大佐世保校

参加者

長崎県立大
木村 務学長

経営学部経営学科2年
志方 美月さん
(佐世保南高)

地域創造学部公共政策学科2年
松元 広貴さん
(鹿児島高)

国際社会学部国際社会学科2年
荒木 瑞姫さん
(口高)

情報システム学部情報システム学科2年
吉田 頌美さん
(海星高)

看護栄養学部看護学科2年
宍中 彰太さん
(宗清高)



木村務学長



志方美月さん



松元広貴さん

この学科を選んだ理由は
志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 簿記、会計などの専門的な学びが魅力

大学院進学でさらに深い学びも 木村学長

志方 私は佐世保市出身です。地域が抱える課題に目を向け、地元経済を元気にするために経営学を学びたいです。

木村学長 大学は今、長崎県

この大学でやりたいことは
志方 私は佐世保市出身です。地域が抱える課題に目を向け、地元経済を元気にするために経営学を学びたいです。

木村学長 大学は今、長崎県

松元 公共政策を学び故郷に恩返しを

興味ある地域課題を絞り込んで 木村学長

松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

木村学長 大学は今、長崎県

この学科を選んだ理由は
志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

荒木 留学や海外体験で視野を広げたい

自分の意見を常に考える習慣を 木村学長

荒木 私は佐世保市出身です。地域が抱える課題に目を向け、地元経済を元気にするために経営学を学びたいです。

木村学長 大学は今、長崎県

この大学でやりたいことは
志方 私は佐世保市出身です。地域が抱える課題に目を向け、地元経済を元気にするために経営学を学びたいです。

木村学長 大学は今、長崎県

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

この学科を選んだ理由は
松元 私は今通科出身です。簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

志方 私は普通科出身ですが、その知識を基礎に、簿記や会計などの専門的分野をより深く学びたかったからです。

県立大ニュース 学部・学科再編後の一期生が卒業!

<p>経営学部</p> <p>就職実績</p> <p>佐々木冷策、親和銀行・十八銀行、トラストホールディングス、トランスコスモス、白十字会 など</p>	<p>国際経営学部</p> <p>就職実績</p> <p>SMBC日興証券、NEC、NTTコミュニケーションズグループ、ジャパネットホールディングス、JAL、ソラシドエア、日本年金機構、富士通セネラル など</p>	<p>公共政策学部</p> <p>就職実績</p> <p>九州経済産業局、九州農政局、国税専門官、佐世保市、長崎県(教育事務、警察事務)、長崎市、長崎地方務務局、長崎労働局 など</p>	<p>地域創造学部</p> <p>就職実績</p> <p>九電工、西肥自動車、全国農業協同組合連合会、長崎キヤノン、長崎県信用保証協会、ニースウェル、ベイロール など</p>
<p>国際社会学部</p> <p>就職実績</p> <p>ANA、エイチ・アイ・エス、オリックス生命保険、ティーエスブランド、東洋信号通信社、長崎空港ビルディング、長崎県中小企業団体中央会 など</p>	<p>情報システム学部</p> <p>就職実績</p> <p>属精光コンサルティング、九電ビジネスソリューションズ、JR西日本ITソリューションズ、日本ビジネスソフト、日立ソリューションズ西日本、富士通ビー・エス・シー など</p>	<p>情報セキュリティ学部</p> <p>就職実績</p> <p>京セラコミュニケーションシステム、住友電装、総務省(九州総合通信局)、ソーセコム、ダクタマニファクチャリング、長崎市、富士通ソリアルサイエンスラボトリー など</p>	<p>看護学部</p> <p>就職実績</p> <p>長崎北病院、長崎大学病院、独立行政法人国立病院機構 九州医療センター、福岡赤十字病院、長崎原爆病院、福岡大学病院 など</p>
<p>看護栄養学部</p> <p>就職実績</p> <p>東ファーマシー、エームサービス、大賀薬局、大光食品、ながさき内科・リウマチ科病院、日清医療食品 など</p>			

情報化社会において注目される「セキュリティ技術者」の育成

国内4年制大学で初のセキュリティ専門学科として開設された県立大学の「情報セキュリティ学科」。急速に情報化社会が進展する中で求められる情報セキュリティのプロの育成を目指し

ています。基礎から実践まで学べるカリキュラムの魅力や特徴的な教育施設などを担当教授に、また、研究内容などを同学科学生に伺いました。

県立大学の躍進

学部学科再編の新たなステージ



情報セキュリティ学科
4年 加藤 真輝さん

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。



研究室でドローンを飛ばし遠隔操作の通信方法を分析する様子

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。



情報セキュリティ学科
小松 文子 教授 同僚

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科を志した理由を教えてください。

授業内容や加藤さんの研究について教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科を志した理由を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。



情報セキュリティ学科
加藤 雅彦 教授

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。



仮想環境を利用して安全に攻撃・防御の演習を行うセキュリティ演習室

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

情報セキュリティ学科の魅力を教えてください。

○用語解説

	用語	解説
ア行	IR	Institutional Research（インスティトゥーショナル・リサーチ）の頭文字。教育研究・経営・財務情報など、大学の諸活動に関する情報を収集・分析することで、学内の意思決定や改善活動の支援、外部に対する説明責任を果たす活動。
	アクティブラーニング	教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。
	アセスメント・ポリシー	学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。
	アドミッション・ポリシー	入学者受入方針。各大学・学部等が、その教育理念や特色等を踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような能力や適性等を有する学生を求めているのかなどの考え方をまとめたもの。入学者の選抜方法や入試問題の出題内容等にはこの方針が反映されている。
	インターンシップ	学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来希望する職業に関連した就業体験を行うこと。
	e-learning	電子ネットワークなどを利用した教育、研修。WBT(Web Based Training)やdistance learningとも呼ばれる。
	AO入試	AO入試：アドミッション・オフィス入試。アドミッションポリシー（大学が求める学生像）に基づき、学力では量れない受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識などを多面的、総合的に評価し判定する入試。
	HSK	中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）直属の機関である「孔子学院总部／国家漢办」が主催し、中国政府が認定する中国語の資格。初級レベルの1級から上級レベルの6級まで6段階に分かれており、6級は「中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解することができ、自分の意見や見解を流暢な中国語で口頭または書面にて表現することができる」ことが求められる。
	SD	Staff Development（スタッフ・ディベロプメント）の頭文字。事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組。
	FD	Faculty Development(ファカルティ・ディベロプメント)の頭文字。教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。具体例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法に関する研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
	FP（ファイナンシャル・プランニング）技能検定	顧客の資産に応じた貯蓄・投資等のプランの立案・相談（ファイナンシャル・プランニング）に必要な技能に関する試験。レベルは1～3級までであり、2級はビジネスでは必須と言われるレベルで、金融業界を中心に企業ニーズも高く、昇格要件とされるケースもある。

	用語	解説
ア行	enPiT-Basic	文部科学省が実施する「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)」の「セキュリティ分野(enPiT-Security)」に参加している。主に学部3年生を対象とする、演習科目を重視したコースとして、幅広いセキュリティ分野の最新技術や知識を体験を通じて習得することができる。情報セキュリティに関する専門教育を実施している全国の連携校が enPiT 提供科目としている専門科目を、遠隔講義によって受講することができる。
カ行	科学研究費補助金(科研費)	人文・社会科学から自然科学まで、あらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする国庫の研究助成費。文部科学省、厚生労働省、日本学術振興会により審査・交付される。
	カリキュラム・ポリシー	教育課程編成・実施方針。ディプロマ・ポリシーで定めた学修内容を習得するためのカリキュラムを体系的に示したもの。
	カリキュラムマップ	履修系統図。学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との間の対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図。
	クォーター制	1学年複数学期制の授業形態。1年間の課程を4つの学期に分けて行う。少数の科目を集中的に履修することで、学習効果を高めることができる。また、海外大学の入学時期との調整が容易となり、留学生の派遣・受入が行いやすくなる。
	クロスアポイントメント制度	大学法人、研究開発法人、民間企業等が機関間でクロスアポイントメントに係る協定書等を締結することにより、職員がそれぞれの機関で「常勤職員」としての身分を有し、それぞれの機関の責任の下、必要な従事比率(エフォート)で業務を行うもの。
サ行	先取り履修制度	本学大学院への進学を目指す学部生が、大学院授業科目を学部生のうちに履修し、本学大学院に進学後、当該専攻が定めた上限単位数(最大で10単位)の範囲内において、大学院の修了に必要な単位として認定する制度。
	COC+	文部科学省が実施する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」。大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする。本学においては、長崎大学を中心に、『若者が輝く、若者で輝く長崎創生～地方創生人材学士プログラム～』として実施。
	シーズ	大学がもつ「技術、ノウハウ、アイデア、人材、設備」などを指す。
	「しまなび」プログラム	島嶼県である長崎県の特徴を活かし、また長崎県の公立大学として「しま」を第3のキャンパスとして位置づけ、学生を在学期間中(4年間)に最低一度は「しま」を訪問させ、現地の生活や人との交わりの中で、実践的な学習を体験させる本学独自のプログラム。
	就業力	学生が卒業後自らの素質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力。

	用語	解説
サ行	情報処理技術者試験	情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験。 試験区分はレベル1（ITパスポート）、レベル2（基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）、レベル3（応用情報技術者試験）、レベル4として、情報処理安全確保支援士試験など14分野の試験がある。
	税理士試験	税理士となるのに必要な学識及びその应用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われる国家試験。会計学に属する科目（簿記論及び財務諸表論）の2科目と税法に属する科目（所得税法、法人税法、相続税法、消費税法又は酒税法、国税徴収法、住民税又は事業税、固定資産税）のうち受験者の選択する3科目について行われ、1科目ずつの受験が可能。合格基準は、各科目とも満点の60パーセントとなっている。
	全経簿記能力検定	全国経理教育協会が実施する、簿記能力・経理能力に関する検定。上級の合格者には、税理士試験受験資格が与えられる。
	ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）	人と人とのつながりを促進・サポートする、「コミュニティ型の会員制のサービス」。Facebook、LINE、Twitterなど、多数のサービスがある。
タ行	中国語検定	日本中国語検定協会が実施する中国語能力の検定試験で、1級から準4級までの6段階で試験が行われている。 2級の認定基準は、複文を含むやや高度の中国語の文章を読み、3級程度の文章を書くことができ、日常的な話題での中国語による会話が行えること。 3級の認定基準は、中国語の一般的事項をマスターして、簡単な日常会話ができ、基本的な文章を読み、書くことができること。
	長期履修学生制度	職業を有しているなどの個人の事情に応じて、大学の定めるところにより、学生が大学の修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修し卒業することを認められる制度。平成14年度から実施。
	ディプロマ・ポリシー	学位授与方針。 卒業時に学生が獲得すべき能力や態度、知識などを示したもの。
	TECC（中国語コミュニケーション能力検定）	中国語コミュニケーション協会が実施する中国語によるコミュニケーション能力を測定する検定。リスニング問題・リーディング問題の2部構成で出題。1000点満点の「スコア表示方式」で評価され、現在、業務で中国語を使用する中国関連業務従事者の平均スコアが614点とされる。
	TOEIC	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、10～990点までのスコアで評価をするもの。一般に、730点以上で、どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているとされる。
ナ行	ナンバリング	授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み。
	日経TEST	日本経済新聞社と日本経済研究センターが主催・運営する四肢択一のマークシート式・全100問の試験。経済知力を構成する「知識」と「考える力（知力）」の2つを総合した「ビジネスの基礎力」を客観的に測り、診断するテスト。最高得点1000点のスコアで評価するもの。

	用語	解説
ナ行	日商簿記検定	日本商工会議所が実施する簿記に関する技能検定。初級から1級の4段階で試験が実施される。2級は経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格の一つと言われている。1級は公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門と言われ、合格すると税理士試験の受験資格が得られる。
	ニュース時事能力検定	新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力(時事力)を養い、認定する検定。五つの分野(政治、経済、暮らし、社会・環境、国際)からバランスよく出題され、総合的な時事力を測る。1級から5級(準2級含む)の6段階で試験が実施される。
ハ行	ハラスメント	様々な場面での嫌がらせ・いじめのこと。他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えること。
	販売士検定	販売員としての素養やサービス向上を目的に日本商工会議所が実施する検定試験。レベルは1～3級まであり、2級は売場の管理者クラスのレベルで、店舗管理に不可欠な従業員の育成や指導、仕入や在庫の管理といった知識が必要。
	ピアレビュー(学生)	学生同士が相互に評価を行うこと。「しまなび」においては、グループワークにおける貢献度等について点数化して相互評価を行い、成績評価に反映させた。
ヤ行	やるばいプロジェクト	本学や地域の活性化につながる学生の自主的な活動を促すことを目的に平成19年度に創設した学生支援制度。採択プロジェクトに対しては奨励金を助成している。
ラ行	リサーチアシスタント	大学教員の研究補助者として雇用されるもので、雇用された大学院学生の給与と授業料などの経費が支給される。学生の研究補助事業に対する対価として支払われるもの。
	ループリック	学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの。学習結果のパフォーマンスレベルの目安を数段階に分けて記述して、学習の達成度を判断する基準を示す教育評価法。